

A G A R O O T

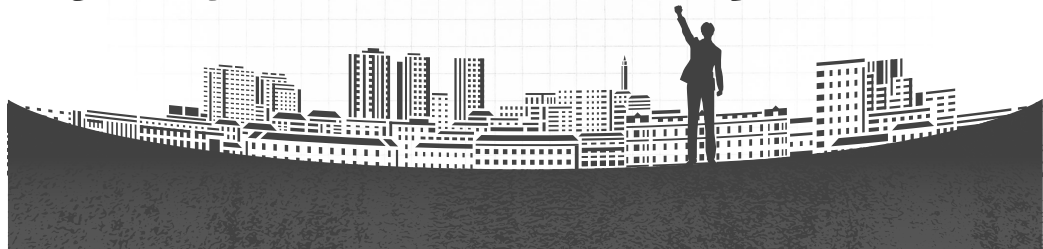
A C A D E M Y

合格

合格者の最短ルート

令和6年合格者

体験記



令和6年度

土地家屋調査士試験合格

片道2時間の通勤電車で動画視聴と択一問題に取り組む

野上 哲也さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

大学を卒業後、公立小中学校で勤務をしていました。安定した給与や福利厚生など将来への不安もなく、目の前の子どもたちの成長のため、一生懸命仕事に取り組んできました。学校内での立場も、気づけば自分は若手ではなく、ミドルリーダーになっていました。40歳を前に、これからのキャリアを考えるようになり、このまま仕事を続けていく未来に安定はあれど、あまり魅力的に感じることができませんでした。自分の力を試したい、そんな気持ちで起業を志し、独立開業しやすい資格として土地家屋調査士試験合格を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士試験について調べれば調べるほど、独学では難しいと思うようになりました。そこで、YouTubeでいくつかの資格予備校のサンプル講義を視聴し、自分に合った予備校を選ぶことにしました。まず、地方在住のため通学は難しく、オンラインで受講できることが必須条件でした。その中で、アガルートアカデミー講義動画は、私がイメージしていた黒板を画面に映すだけのものではなく、実際に使用するテキストが映し出され、それに必要なことを書き込んでいくものでした。これからずっと勉強していく中で、魅力的な先生に学ぶことが重要だと考えていたので、中山先生の表情が豊かで聴きやすい声にも惹かれ、アガルートアカデミーに即決しました。

合格体験記・学習上の工夫

2024年の合格を目指し、前年の6月にアガルートアカデミーの講座を申し込みました。この時期は、中学校教諭として働いていたので、テスト作成や成績処理、部活動の大会など忙しく、集中して学習を始められたのは夏休みに入ってからでした。

まず、中山先生が仰っている通りに学習を進めようと、民法の講義動画から視聴していきましました。これまで法律について学んだことがなく、全く理解することができないまま1周目の講義が終了しました。これはまずいなと思いながらも2周3周と視聴していく中で、内容が少しずつ理解できるようになってきました。過去問も解きましたが、民法は事例問題が多く難しかったです。9月ごろから、不動産登記法の学習を始めました。民法と違って、内容が理解しやすく楽しく学習を進められました。この頃から、毎日4時間の学習を目標に、通勤時間は音声データ視聴、帰宅してから日も変わる頃まで学習をしていました。家族の理解もあり、学習に集中できる環境を作ってもらえたのが大きかったです。12月ごろには、過去問であれば間違えることがほぼなくなったので、1月から記述の学習を始めました。記述の学習は、50問の申請書から始めました。申請書については、総合講義テキストで解説をしてもらっていたので、自分で書くことについて難しさはありませんでした。中山先生がオススメされていた単語帳を使った学習方法を実践し、毎日10題書くようにしていました。50題の中にも自分にとっての難易度に大きな差があり、間違えた問題を繰り返しできるので大変効率的に学習できました。複素数計算や定規の使い方なども学習し、2月ごろから記述式過去問に取り組みましたが……、全く解けず絶望しました。特に土地の問題の読解ができず、測量士補の学習と並行だったので、最低でも毎日1題は土地の問題を解くようにしました。

4月からは、公立中学校を退職し、土地家屋調査士事務所に補助者として勤務を始めました。家族には、絶対に今年合格して、できるだけ早く開業するからと説得し、転職しました。プレッシャーはありましたが、本当にその気持ちでしたので迷いはありませんでした。片道2時間の通勤電車での時間ができたので、ひたすら動画視聴と択一問題を解きました。電車に乗ると気持ちのスイッチを入れるようにし、スマートフォンやタブレットで集中して学習しました。間違えた問題だけでなく、完璧に自分が人に解説できないと感じる問題だけのフラッシュカードを作り、完璧になるまで繰り返しました。この通勤時間の学習が合格できた大きな要因だと感じています。

6月頃他資格予備校の模試では、上位成績者として名前が載るぐらい、気づけば力がついていました。油断から気持ちが緩んでしまわないように、目標を「合格」から「受験者上位1%での合格」に変えました。そのことで、目標達成のため危機感を持って学習を10月まで継続できました。

直前期では、模試を受けたり、1年分の問題を2時間を目標に解いていました。試験10日前からは、それまで真っ白だったテキストの自分がまだ不安なところにマーカーをし、付箋をつけました。前日と当日の朝に確認し不安をなくしていきましました。

当日は、大学受験以来の緊張感でした。実際に土地の問題読解に時間がかかり、焦りから手が震えました。あと、残り7分で建物図面だけだったのでどうするか迷いましたが、中山先生の図面の配点はそれほど高くないという言葉思い出し、見直しの時間に充てました。試験が終了した時は、少しの不安はありましたが、それ以上の達成感でした。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

実務経験がない私にとって、測量士補の学習は非常に難しく感じましたが、中山先生の講義動画を何度も視聴する内に、少しずつ内容を理解できるようになってきました。土地家屋調査士試験でも中山先生の講義動画を視聴していたため、初めて学習する感じがなかったのも良かったと思います。土地家屋調査士試験と変わらず、表情が豊かで声の聞き取りやすさは変わらず、一つの動画時間も5分から10分程度のもが多く、眠くなったり退屈になったりすることなく、集中して視聴することができました。電車で視聴することが多く、数回乗り換えがあったので、電車に合わせて動画に区切りをつけることができたのも良かったです。実物のトータルステーションを使って観測の仕方などの説明は視覚的に理解できわかりやすかったです。総合講義の動画は2周視聴し、直前期にも確認のため1周視聴しました。独学でテキストを見て学習するとなると、何倍もの労力が必要だったのではないかと思います。また、総合講義のテキストは大きさがコンパクトで手に取りやすく、使い勝手が良いものでした。デジタルのテキストも通勤時間など机で学習できない時に非常に便利ですが、やはり紙のテキストの方が使い慣れていることもあって、わからなかったところを確認するのには良く使っていました。文字の大きさも丁度よく、色の使い方もシンプルで見やすく感じました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士試験と並行して学習をしていたので、短時間での測量士補試験合格を目指していました。元々数学に苦手意識はなかったので、計算問題についてはあまり時間をかけたくないと思っていました。そんな中で3時間という短い時間の中で、計算問題に特化している講義は効率的で自分には合っていました。問題を解いて、間違えたり理解が十分ではないと感じた問題については繰り返し問題を解くようにしていました。基本的なパターンを網羅しているので、この問題だけで十分だと思います。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

試験の直前期に学習しました。総合講義でインプットはある程度できていた段階だったので、ポイントに絞って学習するイメージで活用しました。頻出問題に絞った問題集で分量も少なくまとまっている分、学習後半で活用するのに適していると思います。テキストはコンパクトで持ち運びがしやすく、通勤電車内や隙間時間などの短時間しか学習時間を確保できない時に活用していました。試験前日は、最終確認としてこの問題集を解き、自信を持って試験を迎えることができました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試は、試験1週間前に解きました。測量士補試験に向けて、3月から学習を開始し、総合講義や過去問題集を何度も繰り返し学習し、5月からは過去問を1年分通して解くようにしていました。過去問集は5周ほど繰り返し学習していたので、まず間違えることはないぐらいになっていました。過去問の焼き直しが多い試験だと中山先生がおっ

していましたが、自分の力試しのつもりで試験直前に受けました。スラスラと解くことができたので、本番でも大丈夫だろうと自信をつけることができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士試験を1度も受けたことがなかったので、全く土地家屋調査士試験についてわからない状態でしたので、試験内容や特徴、どのように学習を進めていけばいいのかについて大変参考になりました。いきなり講義動画を視聴するのではなく、導入講義があることで効率的に見通しを持って学習を進めることができたと思います。少し学習に行き詰まった時などに振り返って視聴したり、音声データを聴いたりして、もう一度気持ちを入れ直す際にも利用しました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

これまで難関といわれている資格試験勉強をした経験がなかったので、本当に学習を続けられるのかという不安がありましたが、中山先生の講義を視聴していると楽しく、毎日継続して学習することができました。テキストに書いてあることを読んでいるだけではイメージしにくいことを、中山先生の実務での体験談を交えて聴くことで、楽しくもあり実務経験のない私でもイメージしやすい工夫がされていました。とにかくわからなくても立ち止まらず、1周2周とテキストを片手に講義動画を視聴しました。試験まで1年以上ある中で学習を始めたので、実務経験がない私はゆっくりでもいいのでまずはイメージを持つことを大切にしていました。独学で自分でテキストを読んでいるだけでは得られないものが、総合講義にはたくさんあったと思います。インプットがある程度できてからは、択一問題や記述問題に取り組んでいきましたが、定期的に総合講義を視聴していました。動画の再生スピードを速くすることができたのが良かったです。択一や記述問題でつまづいたところをピンポイントで復習する時も活用しました。中山先生もおっしゃられています、このテキストに書かれていることを完璧にすれば合格できる、そんな内容のテキストだと思いますし、それを可能にしてくれる講義だと思います。

過去問解説講座

択一問題は、ある程度インプットができた後、自分で問題を解く前に、まずは解説動画を視聴をしました。いきなり問題に取り組んでも正解できるとは思えず、自信を失って学習意欲が低下してしまう不安があったからです。中山先生の解説を聴きながら、周辺知識が気になった時は、総合講義のテキストを見返しながら進めていきました。1周してもまだ不安だったので、さらにもう1周見返した後、自分で解いてみました。解説を思い出しながら解いてみると、初めて自分で解いたにも関わらず、90%以上の正解率でしたので自信がつき、100%にしようとさらに学習を繰り返すことができました。

記述問題も択一問題同様、解説動画を視聴することから始めました。電卓、定規の使い方、申請書の学習の理解がある程度できた上で記述問題に取り組んだのですが、正直何をしているのか全くわかりませんでした。問題文の読解が重要であると感じ、とにかく手を

動かす前に、解説動画を何回も視聴することになりました。独学では、記述式問題を解くことは自分には絶対にできなかったと思います。この記述問題の解説動画のおかげで合格できたと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

択一問題を解くことに自信がつき、記述問題にも取り組もうと考え始めた1月ごろに、定規の使い方講座を学習しました。学生時代、図形を描くのが好きだったので、定規を使って作図する学習を楽しみにしていました。座標値のプロットの仕方や線の結び方の工夫など、学習していて本当に楽しかったです。土地家屋調査士試験は試験時間が足りなくて不合格になることが多いと聞いていたので、とにかく速く正確に作図できるように練習しました。

[中山式] 複素数計算のご感想・ご利用方法

複素数について学習した経験はありましたが、土地家屋調査士試験の記述問題になぜ必要なのかと講座を受講するまでは思っていました。関数電卓を使ったことも初めてで、とにかく中山先生の言う通りに電卓を使えるようになろうと、何回も繰り返し動画を視聴しました。始めは、中山先生の解説に電卓を叩くスピードが追いつかず、一時停止をしなければなりませんが、繰り返す内にどんどんスピードが速くなっていくのを感じました。最初は難しく感じた総合問題も、しっかりと理解し短時間で解くことができるようになりました。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

択一問題を解くことに自信がつき、記述問題にも取り組もうと考え始めた1月から申請書の学習を始めました。総合講義でも学習していたので、取り組みやすかったです。中山先生が紹介されていた単語帳を使った学習の工夫を実践し、単語帳に1から50の番号を書き、50のひな形書式を毎日ランダムに10題解くようにしていました。間違えた問題はすぐにもう1度できるように単語帳に綴じ直し、正解した問題は50題全て解けるようになるまではやらないように、できるだけ効率的に学習しました。また、解答見本を加工し、申請書の枠だけになったものを作り、書き込んで学習できるようにしました。完璧に書けるようになるまで繰り返し、試験本番で申請書は満点を取ることができました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練は、3回とも10月に入ってから取り組みました。他資格予備校の模試や答練も何回か受けており、合格するのに十分な結果が出ていたので自信がついていました。3回とも2時間30分に時間を設定し問題を解きました。本試験からかけ離れているのではと感じる答練もある中で、本試験を意識した内容の問題になっていたように感じます。時間的には、2時間前後で最後まで解答できましたが、見直しのために2時間30分時間を確保しました。解説テキストが複素数計算を使ったものになっていて、記述問題の解説が非常にわかりやすいものになっていました。直前期だったので、こちらは繰り返して学習することはしませんでした。様々な問題にふれておくという意味で有意義だったと思います。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座があることを正直忘れていたので、試験まで1ヶ月を切ってから学習しました。たくさんの改正があったわけではなかったと思うので、それほど時間をかけることなく、必要なことだけをピンポイントに解説してくれていました。法改正の情報や改正部分のアップデートは、市販のテキストを使った独学での学習では難しいと思うので、資格予備校、特にオンライン学習に特化したアガルートアカデミーの強みだと感じました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は、試験前日に取り組みました。それまでに実践答練や他資格予備校の模試などをいくつか受けていたので、アガルートアカデミーの受講生として、学習の最後はこの直前予想模試にしようと考えていました。中山先生を始め、講師の先生方の受講生を絶対に合格させるんだという気持ちを感じながら問題を解きました。しっかりと理解し問題を解くことができたので、これまで学習してきたことに間違いはなかったと自信がつけました。

講師へのメッセージ

中山先生、本当にありがとうございました。わかりやすく、そして楽しく学習することができました。学校の先生を辞めて、土地家屋調査士になるという気持ちになれたのも、先生の講義を受講し、調査士試験に合格できるという自信がついたからでした。定期カウンセリングなどを受講しておらず、直接お会いしたこともないですが、これからの人生を後押ししていただいた恩人だと思っています。測量士試験講座も受講しておりますので、これからも宜しくお願いいたします。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

環境をなるべく本試験と同じスタイルに寄せて学習

小椋 愛さん

2024 ダブル合格カリキュラム / 定期カウンセリングあり

土地家屋調査士試験の受験回数：2回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

今後妊娠・出産・育児を経て復職するために手に職をつけたいと考え、転職を決意しました。夫が土地家屋調査士という土業の職をすすめてくれたことがきっかけで仕事内容を調べていくにつれ、これまで技術職として現場で働いてきた経験から、外業と内業を兼ね備えた土地家屋調査士が自分に合っていると感じました。また、人生100年時代を見据え、定年なく働ける点も魅力的でした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

各予備校に資料請求を行い、比較検討した結果アガルートに決めました。アガルートはオンラインで学習が完結できるため、隙間時間や自宅以外での勉強に最適な予備校だと思います。最後に気になっていた点をYouTubeの合格道場で中山先生と中里先生に回答いただいて、その後すぐに講座の申し込みをした思い出があります。

合格体験記・学習上の工夫

私の場合、なんとしてでも一発合格を果たしたかったので、夫と相談の上一発合格を約束に退職し専業で受験しました。完全に異業種だったので、転職して補助者をしながら受験勉強をするか悩みましたが、どちらかが疎かになるのも嫌だったので覚悟を決めました。結果論ではありますが、プレッシャーを感じながら自分を奮い立たせることができ、一発合格も果たすことができたので良かったです。何より最高に恵まれた環境を提供してくれた夫には本当に感謝しております。

学習上で唯一こだわっていたのは、「環境をなるべく本試験と同じスタイルに寄せる」という点です。学習に利用するツールとしては、はじめはタブレットで申請書等学習していましたが本試験は紙なので本試験と同じように毎日紙にボールペンで記入するようにし

ました。各年度の過去問もテキストは解説のみ使用し、アガルートがネット上で公開してくれている過去問を印刷して綴じて演習に利用していました。解答用紙も同じようにです。学習環境についても、過去問や答練・模試を解くときはなるべく図書館の学習席でイヤホンを使わずに周りの雑音にさらされながら、2時間半の時間を計りながら通して演習しました。本試験には魔物がいると言われるほど、当日は緊張とパニックに陥りますし、実際にそうでした。そんな状況下でも最後まで足掻きながら合格を勝ち取れたのは、今まで本試験を想定した学習環境のおかげも大きかったです。

【おおまかな学習スケジュール】

前年5月～8月：「何もわからん」と思いながらダラダラとインプット動画を視聴、8月は富士山に登頂して燃え尽き症候群により全く勉強せず

9月～10月：R5年度お試し受験で択一の足切り回避を目標に択一の勉強を開始（結果15/20正答、足切り回避）

11月～12月：択一過去問を100%解答目標に学習、ひな形の学習開始（以後試験が終わるまで継続）

1月：択一の学習と平行して測量士補の学習を開始

2月：択一の学習を中止、記述のインプットを開始（測量士補は試験まで継続）

3月：択一の学習を再開（あやふやな部分を洗い出して復習）、記述の演習を開始

4月：他校の答練を通学で受講開始、調査士の過去問を年度毎で通し演習を開始

5月：他校の第一回全国模試を受験（A評価）、測量士補受験

6月～10月：7月に第二回全国模試を受験（A評価）。申請書例6つ、民法1時間、過去問1年度分、答練1回分、余った時間でインプット動画を見るのを1日のタスクとして本試験前日までひたすら続ける。

専業受験のため多くの方の参考にはならないと思いますが、以上のようなスケジュールで学習を続けました。

【反省点】

私は勉強に専念できる環境だったので、測量士補の学習を早くに始めすぎたと感じました。3月の時点で恐らく合格レベルには達していましたが、90時間程度の勉強時間で足りると言われているのに対して、知識が抜け落ちていくのが怖くて200時間ほど費やしてしまいました。甘く構えて午前免除を受けられない事態だけは避けるべきですが、やりすぎる必要も無いと思います。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

学生時代は電子工学専攻で、就職してからは機械的な技術職しか経験したことがなく、はじめは測量に関する知識がゼロの私にとっては調査士試験と同じぐらいに測量士補試験が不安でした。実務経験もゼロなので実物のトータルステーションを見たことすらもほとんどありませんでしたが、総合講義では中山先生がトータルステーションを実際に手に持って実演してくださるのでとてもわかりやすかったです。やはりテキストの文字面だけでは理解しがたい部分も多いので、知識の定着に繋がりました。

総合講義の利用方法としては、まずはインプットのため1周動画を視聴した後（調査士の勉強と並行して1日1.5時間程時間をとり約1ヶ月）、過去問集の上巻・下巻（67時間、4周）の流れで学習を進めました。ここまでを1月から3月の間に進めて、4月は国土地理院のHPで公開されている過去5年度分の過去問を通して時間を計りながら解きました。通しで解いてみると実際にかかる時間や見直しに必要な時間を把握しやすいため、試験までの残り1ヶ月をどのように学習すべきかを見直すよいきっかけとなりました。5月に入ると、過去問を確実に解けるようにすることは別に、毎年3問程度は新聞が出るのとことでしたので対策として隙間時間に総合講義の動画や中山先生の合格チャンネルを拝聴しました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

正直な話、3時間で押さえる講座シリーズの存在に気づかないまま4月中旬まで学習を進めておりました（申し訳ありません）。一通りの学習は済んでいるタイミングで講義動画を視聴して問題を解いてみましたが、講義もその名のとおり3時間ぽっきりで終わりますし、総復習として活用するにもとてもよい講座でした。この講座で出題されている計算問題は出題頻度も高いですし、必ず押さえておく必要はあるので、試験までに勉強時間を確保できない方はせめてこの講座だけでもしっかりと押さえておけば充分合格できる可能性はあると思います。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる計算問題と同じく、この講座の存在に気づいたのが4月中旬だったため総復習として活用しました。文章問題に高頻出の要点がコンパクトにまとめられているため、試験まで時間が無い方にとっては特にマストな教材だと思います。文章問題は暗記に頼る部分も多いと思いますが、ある程度の学習が進んでいても隙間時間に動画を聞き流すだけで、知識の定着や、記憶の引き出しをつくることができるので素晴らしい講座です。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

力試して実力診断模試を受けたのは5月に入ってからすぐの頃でした。調査士試験勉強でもそうですが、基本的に過去問ベースで学習するので新聞はとても貴重でした。本試験と同じ時間の3時間を確保して、本試験での時間の使い方をシミュレーションしました。講義で中山先生も仰っているとおり、焦って解かなければ間に合わない試験では無いことがよく分かります。丁寧に解いて1時間半かかり、計算問題のみ検算込みで見直しをして1時間弱、残った時間で文章問題を見直しました。模試であやふやだった部分についてはしっかりと復習を行い、本試験に備えました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

受験勉強をはじめに際し、最初に視聴しました。私にできるのだろうかという不安な気持ちもありましたが、新しいことをはじめるときのワクワクした気持ちで視聴した記憶があります。講義では本試験までの学習スケジュールを中山先生が教えてくださるので、

定期カウンセリングを受講していない方でも大体の進め方は把握できるのではないかと思います。導入講義で大切だと思ったところや、もう少し学習を進めた後にもう一度確認したいと思った部分は画面をスクリーンショットして、すぐに振り返ることができるように活用しました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義は私にとって、調査士試験の勉強において一番お世話になった講座です。一日の勉強ルーティンの締めめに集中してタブレットで、お出かけの電車内・車内で、図書館に行くときに歩きながら、家事やご飯を食べながらスマホで、常に総合講義とお友達でした。全体的に理解が深まるまでは全範囲を通して、ある程度学習が進んだ後は苦手だったり曖昧なところを部分的に何度も何度も繰り返し視聴しました。総合講義には合格するために必要な知識がすべて詰まっているので、このテキスト1冊と講義を理解できるようになれば必ず合格できると思います。

業界未経験の初学者の私もそうでしたが、1周目は本当に何を言っているのかわからないところだらけです。講師陣が仰っているように、はじめはわからなくてもとにかく学習を進めて次のステップに行くのが一番合格への近道だと思います。択一の学習が進むと自ずと理解も進み、申請書や記述の学習が進むとさらに理解が深まります。ある程度学習が進むと、絶対に1から10まで理解していないといけな部分と、そうではなく予備知識程度で大丈夫な部分は自分で判断できるようになりますので、理解を深めるべき部分・そうでない部分のメリハリを大切にしていました。

過去問解説講座

【択一】

はじめに解説動画を視聴したときに、解説の各肢に総合講義のテキストに該当するページをメモしました。それと同時に、総合講義のテキストの該当部分余白にも令和5年度問4の肢アであれば、「R5④ア」とメモをしました。そうすると、自ずと総合講義のテキストのどの辺にどんなことが書いてあったかを把握できるようになりますし、それぞれの論点の出題頻度が顕著にわかります。平成17年度から令和5年度まですべての肢に該当する部分を探すのは骨の折れる作業ですが、デジタルブックの検索機能をうまく活用してはじめてやっておくことであとから復習する際の学習効率が大幅に変わりました。あとは、解説には書いていない中山先生が講義動画のみで説明している部分もメモしておきました。

【記述】

記述の学習を始める際にいきなり自分で解いてみるのではなく、一度解説講座を視聴して大体の考え方や解き方を把握してから演習にとりかかりました。択一も記述も講義動画を見たのは1度きりで、あとはひたすら演習と復習を繰り返しました。特に記述に関してはテキストの解説が充実しているので、過去問を時間内に解いて満点（解答の暗記ではなく内容を理解）に近づけるまで演習の回数を重ねることが大切だと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

記述の学習を始める前に視聴しました。それまでは民法に不動産登記法に調査士法に法律だらけで頭も疲れちゃうような内容でしたが、この講座は一味違うのでとてもいい息抜きになりました。もちろんはじめは小学校の黒板で使われるあのデカイ三角定規を連想させるこの三角定規を使いこなせるのか不安でした。でも安心してください。すぐに何も意識せずとも使いこなせるようになります。あまりの使用頻度に、摩擦でメモリが消えてしまう箇所が出てくるほど使うことになりますし、使っていく上で自分のやりやすいやり方も自然と身につきます。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

新・定規の使い方講座と同じタイミングで、記述の学習を始める前に視聴しました。私の場合、学生時代に関数電卓をよく使っていたので、関数電卓に備わっているよく使われる機能は事前知識がある状態でのスタートでした。最後の練習問題には大切な計算方法のすべてが詰まっているので、月に1度練習問題を解く日を設けて忘れないようにしていました。特に逆計算については過去問では出題されることがないので、しっかりと覚えておくくと本試験に出て周りとの差をつけられる大きなポイントになると思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

前年の試験が終わった10月末から学習を開始しました。まずは講義動画を視聴して、その後は測量士補試験が終わるまでは毎日3つ、測量士補試験が終わってからは毎日6つひたすら書き続けました。すると、最終的には50例と補講分25例合わせた75例を10日程（6つ/日の場合）で回すことができます。簡単な申請書例の一覧表を作成して、正しく書いた日は日付に色をつけて、間違えた日は日付のみを記載しておくことで苦手な申請書例を把握できるようにしていました。3周連続で間違ったら集中的に克服する時間を設けることで効率的に覚えることができました。

実践答練のご感想・ご利用方法

答練を解く上で一番大切だと思うのは、答練を本試験だと思って解くことです。私は環境に恵まれており勉強時間もたくさん確保できたので、定期カウンセリングで中山先生と相談した上で他校の答練や全国模試を会場受験で受講しました。アガルートの答練は図書館の学習席でなるべく本試験と同じ環境を作って解きました。

記述の過去問を1周解いてみたあと（2月下旬）に、実力試して実践答練1回目を解きました。貴重な新聞なので、2～3回目は8月まで温めておきました。講師陣が仰っているとおり過去問より難易度は高めに設定されていますが、しっかりと学習できていれば対応できる場所も多いので、答練で合格点に達していると自分が今までやってきた勉強は間違っていなかったと、自信に繋がりました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

受験予定年度の試験で法改正の影響を受ける部分は比較的少なかったかと思いますが、

やはり不安要素になるので、法改正対策講座のおかげで安心して最新の情報を得ることができました。自分で調べるのと、講師陣が法務局にしっかりと確認した上で講座として提供してくれるのでは安心度が異なります。実際に試験では論点になりませんでしたが、次年度以降出題されることは大いに有り得ると思うので、もし試験の結果が残念だったときでも最新の知識で挑もうと思いついて受講しました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

9月中旬の直前期に最終確認として解きました。択一に関しては中里先生が落として欲しくない論点を考慮して作問してくださっているとのことだったので、正解したところは自信にして、間違えたところは真摯に受け止めて復習をして本試験までの調整に活用しました。模試や答練は正解すれば自信に繋がりますが、逆に間違えたところが一番大切で自分の曖昧な知識を把握できる機会です。特に本試験と同等の難易度で作問されている直前予想模試の結果は、直前期の学習スケジュールを立てるためのよい材料になりました。

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

定期カウンセリングはほぼ中山先生、1度だけ中里先生にご指導いただきました。進捗を報告して月ごとの目標を立てたり、たまには雑談もしたり。辛くなったときは、中山先生の「小椋さんは絶対受かるよ。俺が受かるって言った人は絶対受かってきたもん」という言葉を思い出して最後まで走りきることができました。

講師へのメッセージ

中山先生はじめ講師の先生方、大変お世話になりました。アガルートを受講して本当に良かったです。まさしく「最短ルート、アガルート」でした！ ありがとうございます。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

問題の広く深い理解のためにテキストに戻ることが大切

菊地 孝輝さん

2024 ダブル合格カリキュラム / 定期カウンセリングあり

土地家屋調査士試験の受験回数：2回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

会社員時代は測量・登記などとは異なる職種についていましたが、会社の友人が不動産業へと転職しました。その転職した友人と食事をしている時に「不動産業が面白い。もし、自分が不動産業の中で別の職種に就くなら土地家屋調査士の資格を取得してみたい」と言いました。その時の自分は「へー。そんな職種もあるんだ」と聞き流していました。

それから1年後に自分自身も転職について悩んだ時がありました。自分の目標としては独立と収入アップがありました。それを満たす情報を集めていたら土地家屋調査士が当てはまり、ネット記事やブログを参照すると魅力がたくさんあることに気づき、土地家屋調査士を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士を目指すことにしてインターネットで情報収集をすると、資格試験が鬼門であることに気づきました。独学は最初から考えていなかったため予備校を探しましたが、マイナー資格のため必然的に大手数社の中で検討することになりました。

その中でもアガルートを選んだ理由としては完全通信教育であることです。人によってはデメリットであるかもしれませんが、私にとっては完全なメリットでした。個人的な理由になるかもしれませんが、自分は文字を書くのが好きではないため板書を行う予備校は選びませんでした。また、通学で友人などができることはメリットですが、都市部に住んでいないためこちらも対象から外れました。当時は働いていたため隙間時間で効率よく学習する機能があるアガルートは私の求めている学習環境でした。

また、YouTubeでサンプル講義が複数あがっており、その中での中山講師の生き活きとした講義内容が私の好みになっており、未経験の学習分野であっても理解することができたため講座受講の決め手となりました。

合格体験記・学習上の工夫

未経験からの挑戦であり、右も左も分からない状態でしたが、まずは勉強の前提として毎日学習する癖をつけることにしました。その理由としては、自分自身に合っている学習方法や習慣、文房具や環境などを知ってからではないと学習に集中することができないと思ったからです。また、今までは勉強習慣がないため仕事で疲れた時でも勉強する癖をつけるのが大変でした。自分は帰宅後よりも朝に早起きしてから勉強するタイプであることが分かってからは時間を捻出することを意識しました。勉強できる時間は限られているため隙間時間を見つけ、その時に択一を1問でも多く解くようにしていました。そのため、デジタルテキストをうまく活用していました。

完全通信の弱点である「他の受験生との比較が困難である」という部分ですが、月に1度あるホームルームで他の受講生の進捗具合がわかるため、自分の立ち位置を把握して、学習ペースを調整していました。それは早すぎても知識のピークを試験当日に持ち込めないためです。また、職場へは車通勤であったため携帯電話の中にダウンロードした音声データを入れ、通勤中に聞くなど、隙間時間をうまく活用して学習していました。また、その音声データで前日学習した内容を聞くことで効率よく復習して知識の定着化に努めていました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

測量士補の学習は願書受付期間が終了してから取り組みました。その理由としてはあまりにも早すぎると学習内容のピークを試験当日に持ち込むことができないと思ったからです。そのほかには調査士試験勉強と並行して進めました。理由としては、並行して勉強しないと、調査士試験の知識がなくなってしまう気がしたからです。

また、測量機器に触れたことがないため、様々な測量方法を学ぶことが難しかったですが、その時はYouTubeに上げられている測量（高低測量や基準点測量など）を実際に視聴することで学習内容と結びつけていました。また、「測量士補は過去問を完璧にすれば合格できる」という中山講師の言葉を信じて、インプットが終了した後はひたすらに過去問を解き続けていました。また、計算問題を解くのは好きであったため、調査士試験勉強の休憩時間として測量士補の計算問題を解くことで学習時間の確保に充てていました。

また、ある程度学習を進めていくと安定して9割ほど過去問が解けるようになりましたが、その時には更なる知識の習得はあえて目指しませんでした。理由としては測量士補の試験は調査士試験とは異なり絶対評価ではなく、合格点数が決まっている絶対評価であるからです。重箱の隅をつつくような学習方法は非効率であるため、そのような形をとりました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

この問題集は測量士補の総合講義と過去問を一通り解けるようになってから取り組んだ方がよいと思ったため、試験の1ヶ月前に取り組んだと思います。測量士補の過去問の冊

子では類似した計算問題が複数続きますが、こちらの問題冊子は異なる問題内容が連続で出題されるため、本番に近い問題構成であったため、解き甲斐がありました。また、コンパクトに試験範囲を網羅しているため、職場での休憩時間や疲労して学習時間があまり取れない時に重宝しました。

【測量士補】 3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

こちらの問題集も測量士補の合格総合講義と過去問を一通り解けるようになってから活用したと思います。また、試験の1ヶ月前に取り組んだと思われます。測量士補の過去問の冊子では類似した問題文が複数続きますが、こちらの問題冊子は異なる問題内容が連続で出題され、本番に近い問題構成であったため、解き甲斐がありました。また、コンパクトに試験範囲を網羅しているため、職場での休憩時間や疲労して学習時間があまり取れない時に重宝しました。

【測量士補】 実力診断模試のご感想・ご利用方法

こちららも問題を一通り解けるようになった後に取り組みました。時期としては試験1ヶ月前あたりであった気がします。今までの人生の中で資格試験をあまり受けたことがないため、試験当日を忠実に再現するために試験当日と同じ時間に起床・朝食・問題を解くといった感じにしたのを覚えています。また、問題を解いて時間が余ったため、本番を模して問題の見直し、マークミスの有無なども確認しました。

この模試も1度解いて終わりにするのではなく、解き直しをしたら1週間ほど寝かせた後に再度問題を解いて知識の定着に努めました。

【土地家屋調査士】 導入講義のご感想・ご利用方法

講座を購入してすぐに視聴が可能であったためとても驚いたことを鮮明に覚えています。カリキュラムの購入と同時に多くの講座が視聴可能になりますが、どの講座内容から視聴すればいいかわからないと思ったところ、この導入講義の動画があったため、調査士試験合格までの道標になりとても助かりました。未経験、異業種からの挑戦であり正直なところ「講座を申し込んだがどうすればいいのか」と多少の不安があったのですが、動画を視聴し終えると不安は払拭されていました。

【土地家屋調査士】 総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義の動画の本数の長さには驚きと戸惑いを受けたのは今でも覚えています。しかし、実際に講義動画を視聴してみると1つ1つの動画はコンパクトにしかも分かりやすくテキストを丁寧に解説しているため、取り組んでみるとあまり苦ではなかったです。また、音声ダウンロード可能なため音声を通勤中に聞いたり、職場での休憩時間などにも活用することで勉強時間の確保に努めていました。活用方法としては、とりあえずは、理解できなくても動画を止めることなく最後のチャプターまで視聴しました。その後に問題を解いてテキストや解説を読んだだけでも理解できない時は動画を再度視聴することにしていました。そのため、敷地権のチャプターは何度も何度も見ることになりましたが、その度に理

解は深まっていたと思います。

また、一通り動画を視聴して過去問も解けるようになったとしても再度最初から動画を視聴することがとても重要でした。再度講義を視聴すると覚えていない用語や内容があるためです。そのため、試験前の8月くらいから動画を見返し、最終的には講義動画は3周もしくは4周はしたと思います。

そのほかとしては、タブレット端末を使用した学習もしていたため、その時にはデジタルブックも活用していました。

過去問解説講座

おそらく、どの受講生も当てはまると思いますが、1周目の正答率は2割もいかないと思います。自分は正答したかも覚えていません。そのような状態でも、諦めずに問題を解き続ければ正答率は上がっていききました。また、多くの講師が言っている「分からない問題が出るたびにテキストに戻る」ということは大切だと思います。動画と問題の裏面に解説がありますが、その問題の理解を広く、深くするためにテキストに戻ることが大切だと思います。

また、全問正解できるようになったら、あえて期間を空けて問題を解くようにしていました。その理由としては中山先生もよく言っていた「骨折療法」です。一度覚えた内容でも1週間後にはほとんど覚えていないため、この方法をよく用いていました。

そのほかには1年度分の択一を20分ちょっとで解けるようにしていました。この理由としては本試験が時間勝負であることを1回目の試験で痛いほど痛感したためです。過去問は20分ほどで解けていましたが、合格した年の本試験ではやはり30分かかったため、過去問を解いている時から時間配分を考えながら取り組むことは大切だと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

まずは、ボールペンと定規の裏面に付けるテープを買った気がします。そして予想はしていましたが、この講座の1番の難点は私自身が左利きであることでした。

ネットで情報収集しても左利きで作図をしている方の情報がでなかったため、自分なりに作図に取り組み、最終的には我流になりました。やり方を文章で書き表す表現力がないため書き残すことができないのですが、左利きの方も問題なく作図ができることは保証します。

また、30代前半の自分でも建物図面を書く時には文字が震んだり、見づらい時があるため、この講座に初めて取り組む時は午前中や夕方までの時間をお勧めします。

また、座標値が出ない時には分度器とコンパスで作図も可能であるため、試験勉強に飽きた時などに取り組んでみるのもお勧めします。

〔中山式〕複素数計算のご感想・ご利用方法

数学は好きな科目であったため苦手意識を持たずに取り組めたのはアドバンテージになったと思いますが、それを打ち消すほどに関数電卓に慣れることが困難でした。使い方

を教える講義の後に例題もありますが、例題が少ないため反復することが難しく、実際の過去問を用いて反復していましたが、これも難しかった覚えがあります。

しかし、電卓の使い方を覚えてしまうと、問題文を読めば考えずに指が勝手に動くようになりました。また、試験後から関数電卓を全く触れずに数ヶ月経った今でも関数電卓を使い問題は解ける状態であるため、頭で覚えるのではなく指で覚えることが大切だと思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

受験生のブログやインターネット内で「記述の中で申請書の書式が重要であり、配点が高い」という情報は事前に把握していたため、重点的に何度も何度も問題を解きました。調査士試験当日までに書式ひな形を何周したか覚えていないくらい周回しました。

ある程度周回すると自分の得意・不得意の登記目的が浮かび上がってくるため、苦手な書式は何度も何度も取り組み、間違えた翌日には必ず再度解き直しをしていました。また、書式ひな形を完璧にした後に追加のひな形（アドバンス問題）が出た時には中山講師を少し恨みましたが（笑）愛のムチだと捉えてこちらも何度も取り組み、試験までには完璧に仕上げました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練は試験で未出論点であるが重要であるものがセレクトされており、過去問を一通り解いた後に取り組んでいました。確かに未出論点ですが、合格総合講義で学習した内容と照らし合わせれば解けるような問題もあるため難易度としては高いですが的外れではないため学習を深めたい時には重宝しました。しかし、答練を何度も解いているとやはり別の答練に取り組みたくなる状態になってしまい（中山先生がよく言う答練病というものだと思います）、その状態を押さえつけるのに苦労しました。

また、試験前の夏に自分の立ち位置を確かめるために、他校の答練に挑んだのですが、本当に未出論点ばかりの問題でテキストと照らし合わせても解けないものが多く、合格年の本試験と照らし合わせても同様であったため、アガルートの実践答練は本試験に沿ったものであると痛感しています。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法令を取り扱う業務であり、毎年法改正があるためその部分に合わせて講義を配信してくれるのは非常に助かりました。

また、自分が受験する令和6年度は法改正が少なく試験に該当する部分は少なかったのですが、自分は民法を苦手分野としているため、試験に該当する部分の法改正を講義にいただけたのは助かりました。

こちらの講義配信は最後の方であり、時期的に試験に間に合うか不安だったと思いますが、その不安を払拭するほどの丁寧な解説でした。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

1、2ヶ月前に解くことが大切なのかと思いますが、自分はそれよりも少し早く取り組んだと思います。作成者の中里講師が「8割は取りたい」とのことでしたが、私は7割しか取れなくて絶望しましたが、それをバネにその日から試験日までスパートをかけたのは覚えています。

また、試験同様の環境にするために試験日と同じ時間に起床・朝食・復習を行い、試験と同じ午後1時から3時30分まで問題に取り組み、実際にマークシートを活用。早くに終わったとしても解き直しに時間を充てて、時間配分に注意しました。

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

多くの講師陣の中から自分と波長の合う講師を探すために、全ての講師と1回ずつはカウンセリングを行いました。自分は中里先生と1番相性が良いと思ったため複数回カウンセリングをお願いしました。中盤からはほぼ進捗状況は煮詰まっていたため、講師オリジナルの問題を解く「一問一答スタイル」に充てていました。

今でも覚えているのは試験直前、確か試験2日前の一問一答で「地図訂正と特例方式」について問題を出してもらい、解説を受けたのですが、その2つが本試験に出たのです。問題を解いている時に「中里先生すごい!!!」と1人で興奮していました（笑）

講師へのメッセージ

難関資格である土地家屋調査士試験に無事合格できたのはアガルートと、それを支える講師陣のおかげだと思っています。特に中里先生には定期カウンセリングでほぼ毎回担当していただき、お手製の問題を解いていた日々が懐かしく感じます。定期カウンセリングの感想欄にも記載しましたが、試験当日は1人で勝手に「中里先生の的中すげー」と興奮していました。本当にありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

択一のテキストはいつでもどこでも読み込んでいた

深尾 大希さん

2024 一発合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

私は令和5年度には広告会社に勤めていたのですが、様々な理由で退職。急遽の退職だったのでしばらくは失業手当をいただきながら休んでいたのですが、その際に勤め時代に広告を担当させていただいていた司法書士法人の所長から、よかったら働かないかと声をかけていただきました。

補助者勤務を続けているうちに、資格のことを考えるようになり、所長に相談したところ、土地家屋調査士の資格を勧められその存在を知りました。ただ、それまで勉強といったものをしてこなかったのではばくは思案に耽りました。

同年、同じ事務所で働いていた補助者の先輩が司法書士試験に合格し、事務所で雄叫びをあげ喜び、それを事務所内の全ての人間から祝福されているのを見て、自分も何か頑張ってみよう、この人たちと対等に、一緒に仕事をしてみたいと思い、令和6年度の調査士試験受験を決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

それまで勉強というものをしてこなかったの、最初は勉強そのものの方法をひたすらに漁っていました。

当然ながら同時に調査士試験の情報を集めていたので、アガルートのコラムやブログ、YouTubeを見てその存在は知っていました。ただ、失業してから少し休んでいたこともあり、主に金銭面から最初は独学での合格を目指しておりました。

択一については市販教材を読み漁り、ある程度には形になりましたが、記述については自力ではどうにもならず、また、択一知識についても独学がゆえに誤った覚え方をしていたことも受講後に気づきました。

最初は記述関係の単科講座を購入して勉強しておりましたが、その授業内だけでも択一知識について正しい知識との乖離があることに気づき、最終的に土地家屋調査士試験初学

者向けのカリキュラムを全て受講することに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強時間については早朝に事務所を空けさせていただき6時～9時、お昼休憩時の12時～13時、退勤後の20時～23時というふうに時間をとり、習慣化できるように心がけていました。

私が勉強に取り掛かったのが、令和6年の2月ごろからでしたが、前述の通りアガルトのブログ等を読み漁っていた時期があったので、中山先生が講義やYouTube、ブログなどでも根強くおっしゃってくださっていた「全ては択一知識から、記述は択一の範囲内」という言葉を信じ、何もわからないまま択一過去問から手をつけておりました。

わからなくても手を止めず解説を読んで次、というふうに繰り返し、2周目、3周目になるにつれ知識は深まり、10周を超える頃には全ての過去問についての正答率は100%、解説についてもほとんど理解している状態になっていました。

最初に全ての択一過去問を解くのに1ヶ月ほどを要しておりましたが、最終的には2日かかるかかからないかといった状態でした。これらの状態が測量士補試験の終了の6月ごろまで続いていました。

同時進行で総合講義について視聴を進め、自身の不足している知識部分を補完するように視聴することができました。その点では自分の好みの倍速で見られるという点も非常に有用でした。

測量士補試験終了後から1日2日の休憩を挟み、そこから記述式に取り掛かりました。中山先生の「記述はあくまで択一の範囲内から出題される」という言葉通り、択一過去問をある程度やっていたので、問題そのものの理解はできているといった状態でした。作図や計算については全くでしたが、対応した講義を見て、あとは慣れだと思い、一日1年度分の記述を解くという形で進めていました。

但し、令和5年度、当時での最新の過去問については手をつけず、本試験一ヶ月前ごろから触り始め、リアルな答練として使用しました。

感覚としては8月ごろに全ての択一、記述を含む過去問が理解できたといった感覚でしたが、それぐらいからモチベーションの維持が困難になり、テレビや動画、筋トレなど、ながら勉強という方法もいくつかやっていましたね。(笑)

作図については机が必要で、どこでも勉強できるというわけではなかったのですが、逆に机がないところでは択一、あれば記述といった風に割り切ることができたので、そもそもの試験の体質も自分にあった気がします。

そういった勉強を続けたところ、知識のピークは10月頭ごろにあった感覚で、そこから本試験までは知識を落とさないように広く浅く、かつ高速で回して本試験に臨み、合格を得ることができました。

〈特別？な勉強の工夫について〉

前述の通り私は勉強というものをしてこなかったもので、まずは効率の良い学習方法を模

索しておりました。最終的には私はとにかく・数を・高速で回すという形が自分にあって
いると気づき、ひたすらそれを行っていました。かつ過去問については、エビングハウスの
忘却曲線を意識して、たとえば令和2年の択一過去問をやるのなら2月1日に1回、翌
日に1回。理解できていなかったらさらに翌日に1回、理解できていれば翌週に1回、そ
の際に理解できていれば2週間後に1回という間隔を保って行っておりました。

特にその方法と書式ひな形のテキストがマッチしており、わかっている内容をさらに繰
り返すということがなかったので、効率よく勉強することができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

導入講義についてはまず勉強を始めるにあたって、勉強方法や、調査士試験の全体像の
把握という意味で非常に私にとって有用でした。ガムシャラに勉強するのではなく、まず
どこを目指して勉強を進めていくのかを把握できたという点と、何年も講師をやり、かつ
合格者を輩出している先生方が言っていることだと思うとほぼ洗脳のように、素直に聞き
入れることができました。笑

勉強を始めた時期がおそらく一般よりは遅かったので、多少割愛するようにオリジナリ
ティは含めましたが、基本的な方針については講師の方々が仰っていたものを素直に全て
取り組みました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

私は択一過去問をひたすらに回しながら、同時進行で総合講義を視聴していたので、講
義では初のインプットよりは、補完の意味でのインプットという意味合いが強かったです。

しかし、不動産登記法はその問題数からある程度の傾向、全体像も見えてくるのですが、
民法や調査士法については全てを学ぶには効率が悪いと思っていたところ、講義では中山
先生が重要じゃない部分についてはざらりと流してくれていたのも、「ここはあまりやり
込まなくていいのだろう」と割り切って考えることができました。

結果的に択一でも満点を取ることができたので、今思ってみても、この講義で押さえら
れている部分が全てであり、講義の内容を全て理解することができれば、過年度の試験も
満点に近い点数は取れると思っております。

また、難関資格ということで、当然かなり専門的な知識を要されてはいるものの、講義
での中山先生の言い回しや説明は、何か難しいことを説明しているわけでもなく、楽しそ
うに説明されていて、とても聴きやすかったです。

余談ではありますが、講義の中で中山先生が「私も猟銃の免許を持っているのですが」
といったことを仰っていて、真面目な内容の中だったのでなんだか吹き出してしまいました。
ユーモアを取り込まれている部分がものすごく気に入っておりました。

利用方法として、私は最初にこの講義全てを2周は聞いてみようと考えておりましたが、
同時進行で総合講義を視聴した結果、一つ一つの知識が散りばめられているのではなく、
全て繋がっているという風に感じられ、初見の問題などでもこれらの知識を応用して対応
することができました。

勉強時代中は車での移動時や、お風呂、寝る前など、テキストを持ってない時にはずっと聞いていたので、いつでも中山先生の1.2倍速の声がリフレインされていました。笑

過去問解説講座

もしかしたら総合講義以上にお世話になったかもしれないのがこの過去問解説講座でした。最初の説明で過去問が一番大事だと講師の方々が口酸っぱく仰っていたので、過去問は完璧にしよう、という気持ちでやっておりました。

最終的には何十周したのかわかりませんが、1年度分を解答、答え合わせ、解説の読み込みを繰り返したのち、最終的には全ての肢について自分なりに説明といったふうの問題を解いておりました。

記述式についても前述の択一過去問1年度をやり終えると同時に毎日1つといった形でやっておりましたが、机などのスペースを要さない択一についてはテキストが見られる時にはいつでもどこでも読み込んでいました。テキストの解説は、簡潔にまとめられており、調べようとすればどこまででも脱線できそうな内容の中で、「ここまで覚えられていればいいよ」と割り切って学ぶことができました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

定規の使い方については、動画視聴ができる、という点がモロに強みに出ている部分だと感じておりました。テキスト内でも多くの挿絵が使われており、非常に丁寧な内容なのですが、自分が理論よりは感覚派ということもあり、動画内での中山先生の手動きを真似しながら視聴しておりました。

実際に使用しているところを何度でも見られるし、ショートカットの仕方や、実際の試験の紙で書く想定もできたので、そういったテクニック部分が敷き詰められている講義だと思います。

〔中山式〕複素数計算のご感想・ご利用方法

私の数学は中学校の知識で止まっております。最初に調査士試験の概要を調べていたときに、やはり気になったのは数学でした。ましては複素数計算なんて聞いたこともない、本当にできるようになるのか、と思っておりましたが、この講義だけで本当に大丈夫だと今は太鼓判を押せます笑

基本的な三角関数などの知識があれば、さらに理解が深まるのは間違いないですが、この講義では、こういう時はこういう風に電卓に入力すればいいと教えてくださいます。与えられたテンプレートのみを暗記し、試験の内容に沿ってテンプレートに当てはめるだけで問題を解くことができたので私は非常に感動しました。

ある程度慣れてくると勝手に公式なども覚えていき、数学そのものが楽しくなり、複素数計算について危うく踏み込むところでしたが、講師の皆様が「計算できるようになると楽しくなってきた踏み込む方もいらっしゃるの、深みにハマらないよう気をつけてくださいね」と仰っていて踏みとどまりました笑

定規の使い方講座同様、計算知識についてもこの講義のみで調査士試験は合格できます。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

申請書の書き方となると、すべき登記の内容を理解して、正しく記載しなければいけませんが、この講座ではそれらの全てをパターン化して教えてくださるので、暗記のみで申請書を書くことができました。

過去問から見てもこの講座を大きく逸脱することはなく、また、テキストについても取り組みやすく題材分けされていたので、今日は1から5、次回は2から6、というように前述の忘却曲線を意識したやり方で暗記に取り組むことができました。

また、このテキストをやっていると、択一問題、例えば、以下の登記を行った場合の登録免許税額のうち、正しいものを答えよといったものにもものすごく強くなるので、択一過去問について2番目に読み込んだのは、この講義およびテキストだと思います。

実践答練のご感想・ご利用方法

過去問がある程度理解できてくる中で、全く新しい問題について自分はどれほど対応できるのかというのが直前期に近づくにつれ気になっておりましたが、満足がいくまで実践答練は封印しておりました。

結局取り掛かったのが9月の頭ごろでしたが、点数にするとおおよそ80点～85点ほどでした（記述は自己採点なので前後します）。もう少しできたかな……と一瞬不安になりましたが、先生方の「答練はあくまで答練、実際の試験問題より難易度は高い」という言葉に胸を撫で下ろした記憶があります。

先ほどの複素数計算同様、少し難解な問題に対して深く踏み込みそうになりましたが、先生が「踏み込みすぎないように」と複素数計算の時と同様の解説をされていて、また踏みとどまりました笑

そういった受験生の手応えや不安などを先回りしてこうなるだろうと手を回して下さっている部分も、やはり講師としてのプロの方々だなあと感動しました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

令和6年度ではおそらく大きな法改正はなく、実際の問題であたふたすることはありませんでしたが、私のような初学者では、何が改正され、何が元のものなのかということも理解できていないので、法改正に焦点を置いて説明して下さるこの講座は非常に安心につながるものでした。

また、単に法改正の説明ではなく、調査士試験においてはこういったところで試験に絡んでくるかもしれないというリスクヘッジを合わせて説明して下さっていたので、法改正されたから不安に駆られるという点も、以降の受験生の皆様も少ないのではないかと思います。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

模試については、9月終わりごろに行った覚えがあるのですが、答練とは違い、本当に

実践に近い形だったと思います。点数は九十点台だった覚えがありますが、それまでふわりとしていた手応えが、これならいけるという自信につながりました。

答練と模試は、資格試験が初めての私にとってはイマイチ違いがわかっておりませんでした。終わってみればこれらの難易度は確かに大きく違い、練習と、実試験を模したものという点でどちらも非常に有用なものでした。

合格ゼミの受講有無

受講あり（視聴のみ）

合格ゼミのご感想・ご利用方法

大学を出ていない私にとって、そもそもゼミってなにぐらいの意識だったのですが笑
調査士試験はおそらく難関資格の中でもマイナーなものだと思います。少なくとも自分の周りで調査士試験を理解されている人がいない中、同じ志を持った人たちがこれだけいるという意識が非常にありがたかったと同時に、負けられないと意志を燃やすことができました。

講師へのメッセージ

中山先生、アガルートの講座を購入する前からブログやYouTubeなどで拝見し、購入前から中山先生の生徒でした！

孤独な資格勉強ではありましたが、楽しく過ごすことができ本当に感謝しております。祝賀会には参加できませんが、いつか直接お礼を申し上げられれば嬉しいです。

また、講師の皆様、講義やYouTubeにて大変お世話になりました。一歩目を踏み出せたと思い、調査士としての道を邁進したいと思います。ありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

書式ひな形対策講座は確実に点数アップに繋がった

谷口 輝さん

2024 一発合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

前職を辞めたタイミングで土地家屋調査士という職業があることを初めて知り、公共的で魅力的な仕事だと思い、土地家屋調査士事務所に就職しました。それから業務を行ううえで、土地家屋調査士を目指したいと思い試験を受けることに決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士事務所で働いていた友人が、前年度のアガルートアカデミーの講座を受講しており、0からでも講義の内容がわかりやすく理解できるとオススメしていたためです。

また、全額返金の合格特典があり、モチベーション維持できると思ったため受講させていただきました。

合格体験記・学習上の工夫

初めての土地家屋調査士試験を受けるということで、オンライン講座であるアガルートアカデミーの講座を受験の1年前から受講させていただきました。

私は勉強を習慣的に行うことが今まで無かったため、勉強を続けられるか不安でしたが、こちらを受講して本当によかったと思います。

第一にオンライン講座ということがよかった点だと思います。オンラインのためスキマ時間など好きな時間帯で勉強を行うことができる上、2倍速再生などを使い学習時間を巻くことができたためです。私の場合、通勤に1時間弱かかるので通勤時間に2倍速で音声聞き流していました。行き帰りの2時間を2倍速で聴いたら、4時間分の講座を受講したことになるのでとても時間の短縮をすることができたと思います。

そして講義の視聴方法ですが、2倍速で聴いても、スキップをするのは良くはないと感

しました。講義を受けていると難しいこともありますが、講師のふとした一言でスッと頭にはいつてきたことが何度もあったからです。一度ではわからなくても、何度か聴いたら必ず理解できる講義、説明の仕方になっているのもアガルートアカデミーにしてよかったポイントだと思います。

勉強のやり方についてですが、早起きをして朝勉強したりしてしましたが、私の場合1日が眠くて逆によくないと思い、通勤中と夕食後に行ってきました。自分に合う時間帯を見つけるのが勉強を続けるコツだと思います。

あとは、運動などリフレッシュをして勉強のストレスを溜めないように心がけていました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

全く勉強をしてこなかった私ですが、このおかげで効率よく勉強を行うことができたと思います。

近年の土地家屋調査士試験の傾向や勉強の進め方をしっかりここで頭に入れることで、この後の講義、過去問学習を無駄なく行うことができたし、「択一は満点を狙う」などの合格への戦略を意識しながら勉強を始めることができたので、とても良かったです。

この講義を受けるのと受けないのでは、勉強時間、勉強の質に大きな差がでると思います。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義の使い方としては、まず講師の言っていた通り、とりあえずわからないところもそのまま聞き流し1周しました。その後、過去問題をしながら、わからないところは総合講義に戻って、復習を行う方法で使用していました。そして受験2ヶ月前に再度2周目として総合講義をすべて見直しました。過去問題もある程度数をこなした上で2周目を視聴したので、1周目より内容を正確に理解することができました。あとは、過去問題の中でわからなかった部分と照らし合わせながら学習することができたのと、2度目なので記憶に定着させることができ、この2周目で成長することができました。

そして試験直前期に3周目を視聴しました。ここでは学ぶより、わすれてしまっている部分も含めて、復習と暗記を行うなど、大事な部分を再度インプットすることをメインに行いました。

土地家屋調査士法の業務制限などどうしても理解が難しいところは、何度も講義を視聴して、テキストを読んでを繰り返し何周も勉強を行いました。

大部分は3周視聴したら、講義の内容は全てと言っていいほど理解できるようになっていましたので、この講義のおかげで短時間で効率よくインプットできたと思います。

過去問解説講座

過去問解説講座は、総合講義が一周終わった後に勉強を行い始めました。

まず、択一から行ったのですが、びっくりするくらい解けなくて、挫折するかと思います。

した。しかし、テキストの解答を読みその上で、講義を視聴することで理解でき、2回目3回目とするうちに、20問中10問正解、15問正解と上がっていき、逆に自信に繋げることができました。

最終的に択一は6周行いました。1周目は1日10問ほどでゆっくり行い、2週目以降は1日1年分で行っていました。毎回、何周目と何番を間違えたかを記録し、何度も間違えているところは重点的に総合講義に戻って復習を行いました。試験までに過去問全て理解できるように繰り返し繰り返し行いました。

記述に関しては、2周ほどしたあとは、問題を読み申請書を書く練習を重点的に行っていました。申請書を徹底的に覚えることで記述の点数を伸ばすことができたし、記述に対する自信も持つことができました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士試験は、時間との勝負でもあったので、この講義で定規の使い方をマスターすることで、図面のスピードが上がり時間内に問題を解けるようになったと思います。

本試験でもボールペン書きする前にミスに気づき、全て消して図面を書き直しましたが、問題なく間に合ったのもこの講義のおかげだと思います。

定規の裏にテープを貼るように講義でおっしゃっており、貼ってみると滑りにくく、動かしやすくちょうど良い使い勝手になりとても良かったです。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

複素数計算の講義を受け、この内容だけで全ての問題を問題なく解けるようになったので、合格には必要不可欠だと思います。

公式に当てはめてするだけで、計算のスピードも速いうえに、ミスなく正確な答えが出せるため、自分の強い武器となりました。過去問をしていく上でも、計算はほぼ間違えずにスラスラと解けたため、試験時間の余裕にも繋がりましたし、なにより計算に自信を持つことができたため、記述式試験の不安要素を減らすことができました。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

私は、これを覚えて合格できるという気持ちで書式ひな形対策講座の勉強を行いました。過去問をしていく中で、申請書だけは書き方を覚えていないと全く書けないと思ったからです。そしてこの講義では書式例が50ほど全てを網羅する感じでまとめられているので、これだけを覚えました。

この講義を受けたあとにした過去問では申請書が自分で書けるようになっており、確実に点数アップに繋がったと思います。

テキストでは1日50例を繰り返し読み、数をこなして覚えました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練の使い方ですが、一通り過去問講座を終え、過去問で合格点を取れるようになってから取り組みをはじめました。時期的には、本試験の2.3ヶ月前でした。実際、試験形

式でタイムをはかりながら行い、時間は2時間30分内に解けるようになっていたので、本試験でのペース配分の確認となり非常に良かったです。しかし点数の方が、択一では20問中12問正解と、合格点に程遠くかなりショックを受け勉強不足だと実感することができました。

試験まで時間はあったので挫けず、何が悪いのか、自分の弱いところはなにか、ここで向き合う機会になったと思います。それから、弱い部分の復習を重点的に行い、時間に追われながら問題を解くことでケアレスミスが多かったので、問題を丁寧に読むことを心がけるようにして、以降の勉強を行いました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策過去問解説講座は、試験の2週間前ほどに行いました。本当はもっと早くにやるべきだったと思いますが、後回しにして忘れてしまっていました。幸い、法改正数が少なくすぐに勉強に取り入れることができ、暗記も行うことができたので良かったです。独学では、このような法改正を自ら情報を集め対策していかなければいけないので、このように講義で新しいことを漏れなく勉強できたことは、試験に挑むのにとっても安心することができました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は、試験の1週間前に行いました。試験の直前だったため、模試の結果次第ではメンタルに響いてくるので、本試験同様の緊張感でした。結果的には、択一は良かったです。記述式ではミスが目立ち、合格できるかできないかのラインでした。実践答練後の勉強の甲斐があり確実にレベルアップはしていたので、試験前に合格できるかもと自信をもつことができたので良かったです。残りの1週間は、過去問と模試を通して自信のないところを徹底的に勉強しました。

講師へのメッセージ

とてもわかりやすい講座で、一年で合格することができました。ありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

本試験は難関だからプロの指導は必須

中村 景一さん

2024 ダブル合格カリキュラム / 定期カウンセリングあり

土地家屋調査士試験の受験回数：2回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

理由は本当にたくさんありいろいろ説明がつくのですが、

- ・病気を経験して仕事をやめざるを得ない状況になったから
- ・家業である土地家屋調査士を継いで安定した財源を確保したかったから
- ・前職も独立開業をして仕事をしていたが、独立開業を目指せる職を探していたから
- ・すべて0になり、自分のこれまでの経験から可能性を信じて勉強をしてみる必要があったから

- ・周りからの後押しも強く、もうやるしかない状況であったから

これらの経緯から土地家屋調査士を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

前年度もともと他社の土地家屋調査士講座を受講していて、測量士補の資格取得を目指していましたが、測量士補の不合格通知が届きました。そのなかでもどうしても土地家屋調査士試験を諦めるわけにはいかなかったので、他社の調査士の午前試験講座をチェックしましたが存在せず。途方にくれていたところX内で知り合いから「アガルートには午前試験の過去問講座がある」とのリプライをうけ、アガルートの午前試験の講座を受講しはじめました。

そこで関数電卓を使った座標値の求め方の方法が他社のものとは違っていて、青天の霹靂で、本当に驚きました。わかりやすく、しかもミスがなく、そして速度も圧倒的に速い方法だったのです。「これは、もしかしたら予備校によってやり方に違いがあるぞ……」と思い、アガルートを調べていくうちに、体験受講も行い、その独自の勉強方法と予備校自体のシステムそのものが他の予備校と比べ先進的であったことがわかりました。

土地家屋調査士は相対評価の試験です。もしかしたら通年の合格者の上位陣はこの予備校を使っているのでは？と推察し（合格率も物語っている）アガルートアカデミーを受講しようと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

工夫は数しれず行いましたが、まず学習習慣の確立です。土地家屋調査士試験はネット等の触れ込みにて1000時間が合格必要時間であることを知っていました。これはあながち間違っていないように思います。私は合計1500時間ほどを勉強しましたが、この数値は結果論です。計算方法は至って簡単で、1年365日のうち360日を勉強にあて、最低でも毎日4時間必ず勉強しました。

これは一見キツイように思いますが、それは本当に最初の3日くらいで、これを越えれば本当にマジでなんてことはありません。やればやるほどどんどん面白くなっていくカリキュラムであつたし、できない問題ができるようになっていく様は自分でも痛快でした。辛いのは最初だけというのは知っていましたので。コツは他人と比べずに昨日の自分と比べることです。だからSNSはこれを機に全く開くことはなかったです。

日々の学習計画は定期カウンセリングを受講していましたので、先生方の指示どおりに愚直に素直に実行するのみでした。基本的に自分よりこの試験に詳しいプロがそう言っているのでそうなんだろうというスタンスで、取り組みました。結果的に毎月の定期カウンセリングでは「良い感じにできていますよ。良い進捗ですよ」というご返答をくださったので、不安なまま進む試験とは違い非常に安心して進むことができました。弱音を吐いてしまったのですが、これも受け止めてくださり、最後までついてくださるセコンドのような感じです。

択一試験は繰り返しを行う勉強方法とは違い骨折法と呼ばれる一度忘れて再度覚え直す方法を教えてくださいましたが、これが結構良かったです。キツイのはキツイのですが、不動産登記法の根幹の部分に肉付けが行われている感覚がありました。結果択一は満点を取りました。

記述式は答案構成用紙を用いて佐橋先生が実際解かれた本試験の答案構成用に研究を重ね、独自のモノを仕上げました。ただこれに関しては、答案構成用紙を完璧にしないといけない、じゃないと合格はできないというバイアスがかかりすぎて本試験では基準点ギリギリという結果でした。おそらくですが、過去問の周回では養われにくいアドリブ力というものが本試験では少なからず問われるように思います。この力がある人は1位合格もできるのではないのでしょうか。

択一は満点を目指す、記述はやるだけやって出たとこ勝負でいくという戦略で本試験を望みましたが、そのとおりになったかと思います。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

前年度は後1点で合格という結果の私が受けた講義だったのですが、新しい発見や理解が合格を助けたと言っても過言ではありません。いままでは過去問を独学で周回して過去問は完璧にできるという状態でした。ですが、なかなか根本的な理解をするのは独学では難しく思います。この講義では前年度で何回も解いた過去問も、あー、そういうことだったのね。空中写真測量の写真の短編の長編ってそういう意味だったのねとか、アハ

体験があり、脳も活性化していたように思います。

またどこをどうということは言えないのですが……講義中の解釈の言い回しだったり、「こう理解すれば正確です」という講義のなかの端々での言葉絶妙で、妙に覚えていることが多かったです。そういう講義中のちょっとした言い回しが妙に頭の中に残っており、本試験も根幹の理解ができた状態で臨むことができました。

そのほかにも、講義に応じた過去問の参照ページが非常に役立ちました。講義を聞き終えたところをそのまま過去問を使い演習してみるという具合で演習を重ねました。それでもわからなかったところはもう一度講義に戻り、内容の理解に努め、さらに次の日に問いてみるということが容易にできました。

自分は水準測定の部分は本当に弱い状態のままだったのですが、択一の肢も正解することができました。ありがとうございました。

【測量士補】 3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

私は今回3時間で押さえる計算問題は利用しなかったのですが、後からチラリと見てみたことがありました。これだけコンパクトにまとめられていたら解法を覚えるのも苦ではないのではないのでしょうか。計算が苦手な人や時間が限られている人はこれさえやっておけばチャンスは大幅に広がると思います。できる問題は飛ばして、できない問題を繰り返し解いていく方法で測量士補は合格できますので、最も効率の良い直前期の学習教材なのではないのでしょうか。

【測量士補】 3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

測量士補の直前模試を受けたあと、自分は計算問題は確実に取れることはわかったのですが、文章問題がとにかく苦手であることがわかりました。そういった分析から3時間で押さえる文章問題は試験の前日にすべて理解し○がつけられるように対策しました。繰り返し似たような文言が出題される測量士補試験において、いわば丸暗記教材として位置づけました。結果は26問取ることができ、これで追い込みをかける大変重宝した教材となりました。

【測量士補】 実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試で一番驚いたことは設問の内容が一間本試験で出たことです。本試験中に「うわ、出た!」と某小学生向けの学習教材の漫画にでてくる小学生並の感嘆詞が脳内を駆け巡りました。これは本当に目からウロコでした。実際に本試験でその問題は難なく解けました。非常に有用であり、模試の結果は21点とまずまずの結果であったことも本試験追い込みの契機となりました。前年度の同試験の敗因は模試を受けなかったことにあとと思っています。

測量士補の問題はその特性上正確な数値を導き出す能力を試される試験だともいえるので、本試験の緊張状態のなかで正確に慎重に問題を解いていくのはある程度の胆力が必要に思います。その緊張感を和らげるためにも模試の受講は必須に思います。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

導入講義は土地家屋調査士試験の大まかな概要を知る上で必須です。一番印象に残っているのは中山講師が「これを見ている方は合格するのですが……」という一言です。この一言が「土地家屋調査士試験合格」を非常にリアルに体感することができました。はじめが最も肝心であるように、勉強時間の確保の方法やモチベーションの維持に関することは素直に実践して이었습니다。

総合講義をまず一度全て視聴し、視聴し終えたあとは択一過去問を実際に問いていき、記述は択一がある程度解けたあと行うという実際のカリキュラムもこのときに知ることができます。全体像の把握ができ、これから長い旅路である調査士試験の大筋のロードマップを示していただけることで迷うことなくコツコツと実践していただけます。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義では一つの動画が2分～20分とコンパクトにまとめられており、動画を見始めるのが精神的に重たくないという目からウロコの画期的なシステムです。勉強のスタートは最もストレスがかかりますが講義動画の一つのチャプターが短いため勉強開始のストレスがフリーです。結果ヘタレず、どんどん前に進んでいる感覚を得ながら楽しんで講義を聴けます。

またアガルートでは講義動画をコンテンツ化（資産）しており、過去配信されていた質の良い動画を用いています。こうすることにより講師側のチャプター毎の改変が容易であるため結果的に最新の論点にも対応できる質の良い講義動画が配信されている印象です。アガルートのシステムの真髓が現れています。他校では年度毎に新しく撮り直しが行われていますが、効率的ではないかと思っていたところでした。

さらに、倍速視聴でサクッと講義が聞けます。直前期でも講義をさらにもう一周聞けるほどの余裕があり講義中でわからなかったところはテキストに赤線を引き、その部分はわかるまで何回も目を通すことができました。試験でもその赤線部分の出題がなされ、大変功を奏しました。

講義に出ている内容（テキストの内容）はすべて重要であるという考え方の基、講義は作成されています。逆にいうと出されない部分はテキストから除しているため覚えなくて良いとされているとも言えるのです。よくあるAランクBランクCランクというランク分けがなく単純明快で非常にわかりやすいです。

また最後になりますが、講義動画下に該当のテキストのページが書かれており巻末の索引付きのテキストとデジタル書籍の活用で自分の知りたい情報に速攻でアクセスできるところは私の最もプッシュしたいところです。快適すぎるほどの学習環境で楽しく勉強ができます。

過去問解説講座

全体的に鑑みて、択一に重点が置かれていると感じる内容です。択一過去問はすべての肢に解説がついているのはありがたいです。他校にはなく肢がすべてわかった状態で前に

進むことができるため、気持ちが良いです。反復法（1日目2日目と同じ年度を解く勉強方法）についても拙一の講義は重宝しました。一問ごとにチャプターが分かれているため、わからなかった問題にすぐアクセスでき、何度も聞くことができます。

記述過去問は十分な解説がなされています。講義とテキストにすべての論点が書かれているため繰り返すことで、学習の慣れにもつながります。答案構成用紙を活用するためのメモの仕方が説かれているため、ミスを大幅に少なくすることができます。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

まず、アガルート製の定規はかゆいところに手が届く設計です。縮尺250分の1は赤色、500分の1は青色と色別に分かれているため視覚的にも直感的なので本試験でもミスなく作図できました。これが欲しかったです。

またビニールテープでの滑り止め加工も実用的です。

定規の使い方講座は終盤の各種図面に描き慣れた頃でも再度見返すと新しい発見があって、より効率的な定規の使い方を学ぶことができました。図面作成が苦手な方は2,3回みるといいです。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

私がアガルート受講を決定付けた講義でもあります。中山式の複素数計算は、早くて、正確で、わかりやすいため、非常に画期的です。他校が教えている元の難しい計算方法には戻れません。

見たところこの計算方法はYouTubeなどにも載っているところは見たことがなく、中山先生はどうやってこの解法を見つけたのか不思議でたまりません。

また巻末にあるまとめの計算問題は本試験直前でも総まとめの計算方法の練習を行いました。本試験では出されたことはないですが、出なくもない計算方法も収録しており、ここでしか練習ができないため重宝しました。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

本試験の直前までひな形にはお世話になりました。自分は毎日必ず、勉強を始めるときに3つのひな形を問題形式で練習しました。

単語帳にひな形の番号（1～50番 アドバンス1～25番）を割り振り、できたひな形は後ろへ、できなかったひな形は翌日また復習しました。

このできた問題が程よく忘れた頃にまた問題としてやってくるのでよく出来ていると思います。

ひな形練習もアガルートの独自の仕組みですから、やっているところには登記の種類が体に染み付いています。

区分建物の問題（特に区分建物分割登記）の敷地権割合を含めたマスターもできるため有用です。

実践答練のご感想・ご利用方法

まず、実践答練の問題は難しいです。この問題を最初からすべて解けた人は居ないと思ったほうがいいです。

択一の問題は中里先生が作問しており、過去問を周回を重ねた人なら唸ること必須の良問が出題されます。本試験で出て来なくてよかったと思います。他校の実践答練も受けたことがあります。予備校によるクセがあるのは事実です。本試験で問われにくいような問題も出てくるということです。

本試験はみんなができていて問題ができれば合格する試験ですので、不必要な情報は収集すべきではありません。

アガルトの実践答練の択一問題は過去問に出てきた肢そのものの理解を深めるために出来ているように思います。

記述は、中山先生が作問されており、結果的に建物はその登記の目的が出題されています。予想も反映されているため結果的には良問だと思います。そしてかなり骨がありますので、答練を受けた後は過度に不安になる必要はないです。

これを言ったら元も子もないのですが、答練は必須ではないように思いますし、受けなくても良いものでもあると思います。なぜなら本試験は過去問をベースに勉強をしていけば合格する試験だからです。

下手に答練病になるより、過去問を優先すべきです。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

今年は法改正はなされたもののそれによる出題はなされないと思いました。ですので一度見ただけとはなりますが、安心するためにも一度は視聴すると良いかなと思います。

結局法改正の論点の出題はなかったのですが、過去を見ると法改正は一問ないし一肢は出題がなされるようですので、対策は必須です。

出されないであろうことも講義内で話されていたようでしたので、それによる補足論点の補充は柔軟に対応していると感じました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

模試の結果は、択一18点、記述のミスは、土地8箇所建物7箇所です。計15箇所程の減点という結果になりました。

模試の結果については、本試験そのものの結果を反映しています。ですが、苦手分野の克服に焦ってしまうよりも、引き続き勉強を淡々と進めることにしました。

私の場合は図書館の自習ルームへ行き、そのときに来ていた人たちを本試験に来る人と見立て、本番さながらの環境で挑みました。ここで一回腕時計を忘れるという経験を経験して、本試験で忘れないように肝に銘じておきました。本試験さながらの環境で一度模試を受けることのメリットは人それぞれだと思います。私の場合、答練、模試と土地の座標値がすべて出ない（出るまでに試験終了になる、時間が足りない）ということも経験したので、本試験では絶対に座標値を求めるまで諦めないことを覚えました。結果、本試験で

は気合で座標値を出しました。結果的に求める最終座標値のY座標値だけは奇跡的に正解
していて、合否を分ける結果となったと思います。

こういう胆力を養うためにもこの直前予想模試は有用に思えました。

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

定期カウンセリングで合格できたと言っても過言ではありません。以前利用していた予
備校には、このカウンセリング制度はなく、学習が進捗する度に現在地の状況を擦り合わ
せる必要性を感じていました。

いわば、エベレストを登るのにガイドなしで行くようなものです。本試験は難関である
ことは間違いないためプロの指導は必須に思います。

講師へのメッセージ

中山先生：「中村さんなら絶対合格できます」と開口一番に言っていただけたことはずっ
と心の支えになっておりました。定期カウンセリング中も「良いじゃん」とか「良いとこ
ろまで来てる」という言葉が支えになっていました。自身のディスアドバンテージも告げ
ましたが、それも汲んでくださり親身になっていただけたこと忘れません。神のような存
在です。弱音も吐いてしまいましたが、本当にありがとうございました。

中里先生：定期カウンセリングでは一度だけ予約させていただきましたが、アガルート
で触れたのは中里先生の午前試験の過去問講座です。あの講座がなければアガルートは受
講していません。ありがとうございます。

高野先生：測量士補試験直前の定期カウンセリングでは高野先生でした。「あ、そこま
でやっているのならもうダイジョブです」という言葉に救われました。ありがとうございます。

佐橋先生：佐橋先生の答案構成用紙には直前期に見直しても驚くことばかりでした。研
究に研究を重ねた甲斐もあり、基準点ギリギリでしたが、無事合格することができました。
ありがとうございました。

古林先生：「3ヶ月の学習で前年度試験で11点も取れてるなんて自信持ってください」
とっていただけたのは古林先生だけでした。ありがとうございました。

山崎先生：山崎先生のホームルームでおっしゃっていた相続の論点は本試験でも出題さ
れました。もちろん理解して本試験に臨むことができました。ありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

隙間時間を最大限に活用

北川 巧さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

私が土地家屋調査士を目指したきっかけは、知り合いの調査士の先生からの言葉でした。その先生から「この業界は若手不足で、ぜひ君に調査士になってほしい」と声をかけてもらいました。土地家屋調査士は、不動産登記の専門家として社会に必要とされる仕事であり、若手が少ないからこそ、仕事に困ることもなく、将来も安定している、さらに、この仕事はAIに取って代わられることもないから安心だと教えられました。そうした話を聞くうちに、私もこの道を志そうと決意しました。

さらに、能登半島地震の影響も大きな転機となりました。地震によって多くの家屋が被害を受け、土地や建物の境界が曖昧になるケースも少なくありませんでした。この経験を通じて、国民の皆さんの不動産を正しく管理し、安心して暮らせる環境を整えることが重要だと強く感じました。

こうしたきっかけを経て、土地家屋調査士という仕事の意義を深く理解し、この道に進むことを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私がアガルートの講座を受講しようと思ったきっかけは、また別の知り合いの土地家屋調査士の先生からの勧めでした。

その方はもともと司法書士として活躍されていましたが、土地家屋調査士の資格はアガルートの講座を受講して取得したと伺いました。その際に、「アガルートは合格実績も高く、合格特典も充実しているからおすすめだよ」と教えていただきました。実際にその先生もアガルートを活用して合格されており、その実績と信頼感から、私も迷わず受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

学習を始めてから合格まで、私は約5か月間で473時間の勉強をしました。本格的に土

地家屋調査士の勉強を始めたのは、測量士補試験が終わった5月末からでした。

学習上で特に意識したのは、「隙間時間を最大限に活用すること」です。もともと職場まで車で15分の距離を通勤していましたが、勉強を始めてからは徒歩40分に変え、その時間を講義動画の音声学習に充てるようにしました。朝の通勤時には前日に学んだ内容を復習し、帰りの通勤時には苦手な分野の講義をもう一度聞くというルールを決めることで、効率よくインプットと復習を繰り返しました。歩きながら音声を聞くことで、体を動かしながらも学習を続けられる環境を作ることができました。

また、寝るときには講義を子守唄代わりに流し、毎日聞き続けることで、無意識に知識を定着させる工夫をしました。

最初はただ聞き流していただけていましたが、次第に「この部分は次に何を言うか分かる」と感じるほど、講義の内容が頭に染み込んでいく実感がありました。

中山先生の説明は何度も繰り返し聞いたため、講義のフレーズが頭の中で自然に流れるほど印象深いものとなりました。択一試験の勉強の際にもなぜこの肢が正解で、この肢が不正解なのか説明できるほどでした。また試験本番でも、問題を解きながら「この部分は講義でこう言っていたな」と思い出し、スムーズに解答できた場面が多々ありました。

また、土地家屋調査士の試験を始めてから毎日の記録を付けていましたので、最終的に何をどれだけしたのか結果をまとめておきます。

総勉強時間473.5時間、総合講義4～5周、択一過去問6周、申請書例282回、記述（建物・土地）1周、答練1周、直前予想模試1回です。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

学習を始めてから合格まで、私は約2か月間で72時間の勉強をしました。

私が測量士補試験の学習で特に意識したのは、「とにかく講義動画をたくさん聞くこと」です。正直なところ、テキストだけでは理解が難しい部分が多かったのですが、動画講義を活用することで、より実践的な知識を身につけることができました。

特に印象的だったのは、中山先生が実物のトータルステーションを見せながら説明してくれたことです。測量機器を実際に見たことはあるものの詳しい機能や性能を知らなかったため、最初はイメージが湧きにくかったのですが、講義を通じて具体的な操作方法や計算の流れを視覚的に理解することができました。これにより、文字だけでは想像しづらかった測量の実務や計算方法がスムーズに理解できるようになりました。

また、「出題される部分をしっかり絞った効率的な講義やテキスト」のおかげで、迷わずに勉強を進めることができたのも大きなポイントです。試験範囲が広い中でも、「ここが重要」と明確に示してくれるため、効率よく学習できました。特に、計算問題の解き方や公式の使い方については、実際の試験でどのように出題されるかを意識しながら学ぶことができたため、本番でも落ち着いて対応することができました。

このように、テキストの内容をただ読むのではなく、講義動画を何度も繰り返し聞くことで、測量の知識を確実に定着させることができました。結果として、効率よく学習を進められたことが、合格につながったと感じています。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

正直なところ、3時間で押さえる計算問題に関しては私は利用していませんでした。私は普段、高校数学を教える教員をしているため、総合講義だけで計算問題については十分に理解できました。実際に、過去問やテキストを使うことで、計算問題のパターンや解法が自然とわかり、講義だけで問題なく進めることができました。

ただし、私は数学の教員だから理解が早かっただけだと思います。計算問題に特化した講義が必要な人も多くいると思いますので、その点で「3時間で押さえる計算問題」という講義があるのは、非常に良いシステムだと感じました。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる文章問題についても、私は利用していませんでした。これも3時間で押さえる計算問題と同様に、総合講義だけで十分理解できたためです。講義内で紹介されたように、過去問のテキストを何周もすることで、文章問題の理解が深まり、実際に解けるようになりました。

過去問を何周してもわからなかったら動画を見ようと思っていました。

ただし、過去問の解説が分かりにくいと感じる人にとっては、この「3時間で押さえる文章問題」の講義がとても役立つと思います。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試については、私は試験本番の前日に最終確認として利用しました。これまでは過去問を解く際に時間を意識しつつも、緊張感をもって勉強することができていなかったため、この模試は本番に向けてとても良い機会となりました。実際に、時間配分や緊張感を持ちながら、本番さながらの環境で模試を受けることで、試験当日の心構えが整いました。

また、マーク式の解答については、実は試験前日が初めてでしたが、マークを塗る練習ができたことで、試験当日もスムーズに解答を進めることができました。マークシートの塗り方や時間配分に慣れておくことで、当日は余裕を持って試験に臨むことができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

導入講義では、まず土地家屋調査士の試験がどのようなものなのか、そしてどのように勉強を進めていけば良いのかについて詳しく説明していただきました。正直、試験については最初あまり詳しくなかったのですが、この導入講義は非常に役立ちました。試験の概要や必要な勉強法を理解することで、勉強の方向性が明確になり、最初の一步を踏み出す際に安心できました。

また、毎月のホームルームでは、他の受講生の勉強ペースを知ることができたので、焦ったり、危機感を持ったりしながら勉強を進めることができました。周りの進捗を確認することで、自分のペースが遅れすぎていることに気づき、頑張らなければいけないというモチベーションを維持するのに非常に役立ちました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義は、全体で約80時間とボリュームがあり、何周もしたいと考えていましたが、時間に追われていたため、効率よく学習を進める工夫が必要でした。そのため、まず1周目は1倍速でゆっくりと理解しながら講義を聞きました。じっくりと内容を吸収することで、わからない点や曖昧な部分を把握しやすくし、その後の学習に備えることができました。択一を1周してみると思ったより内容を理解できていなかったことに気づきました。次に、2週目以降は倍速で進めることで、できるだけ多くの内容を効率よくカバーすることができました。この方法を取り入れたことで、時間を有効に使いながら、学習を続けることができました。

また、隙間時間を最大限に活用して何度も講義を聞き返しました。通勤中や休憩時間などの短い時間を使って、わからないところや曖昧な部分を繰り返し確認することができたので、理解を深めることができました。特に、講義が一動画ごとに短く区切られていたため、効率よく何度も聞き直すことができ、再生時間に合わせて学習を進めることができました。このように、短時間で学習内容を反復することが、私にとって非常に効果的でした。

動画については全部で4～5周繰り返し見ました。驚くことに総合講義は毎回聞くたびに新しい情報が入ってくるように感じます。何度聞いても新たな学びを得ることができ、少しずつ理解が深まるのを感じながら、何度も視聴することで、内容がしっかりと頭に入るようになりました。暇があるときや、やる気がないときにも動画を見直すことで、学習のリズムを崩すことなく、続けることができました。わからないときは、もう一度講義を視聴して確認し、家事をしている時にも講義を聞くことで、時間を無駄にせず、常に学びを続けることができました。

過去問解説講座

択一講義については、初めに一度視聴したものの、特別新しい情報を得ることができなかったため、再度見る必要はないと判断しました。過去問を解いてすぐに裏の解説を読むことで知識は深まりますので、講義形式で学ぶ内容には限界があると感じました。そのため、択一講義に関しては自分の学習スタイルに合った方法で進めることにしました。

一方で、記述の講義については、まったく異なる印象を受けました。過去問の解説を読むだけではわからないような、記述問題を解く際の問題文の読み方やメモの取り方、解答の進め方など、細かい部分まで丁寧に解説されていた点が非常に良かったです。これらの説明は、ただ解答を覚えるだけではなく、問題を解く際のアプローチそのものを学ぶことができたので、実際の試験でも役立つ知識を得ることができました。特に、記述問題を解く際の「問題をどのように読み解き、解答を書くか」という部分は、他の教材では得られない貴重な情報だと思いました。

また、記述の講義をまず一周してから、実際に問題を解いてみたところ、解説のおかげで自分の解答が完璧に近いものに仕上がるようになりました。講義の通りに記述問題を解いていくことで、合格への最短ルートを辿れたように感じました。このアプローチが、合格に向けての大きな助けとなり、試験に対する不安も大きく軽減されました。

択一に関しては、繰り返し問題を解く中で、自分の言葉で正解の肢と不正解の肢がしっかりと説明できるようになり、知識が定着したことを実感しました。良いテキストと教材があれば、効率的に学習を進められることを改めて実感しました。このような学習方法で、記述と択一の両方において効果的な対策を進めることができたと感じています。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

新・定規の使い方の講義は、択一の2週目に入ったタイミングで初めて視聴しました。実際に講義を受けてみると、その内容が非常に分かりやすく、講義を聞いた瞬間、「これならすぐに記述はマスターできそうだな」と感じるほどでした。図面の書き方についての解説が丁寧で、初心者でもすぐに理解できる内容だったため、自信を持って記述問題に取り組みると確信しました。

この講義を受けて、私は自分の学習計画を立て直しました。それまで記述問題に早く入りたいと思っていましたが、簡単にマスターできそうだと感じたおかげで、記述の学習を進める前に、まずは択一をしっかりと学んで、基礎を固めることに集中するという新たな計画を立てることができました。

講義自体はとても分かりやすく、映像や説明が視覚的にも理解しやすかったのも、実際に手を動かしながら定規を使って図面を描いていく感覚がつかみやすかったです。これなら、どんな人でも簡単に図面が描けるようになるだろうと強く感じました。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

【中山式】複素数計算の講義は、とても画期的で、評判通りの分かりやすい手順を紹介していただきました。関数電卓についても初めて触れることができました。私にとって、関数電卓は人生で初めての体験でしたが、講義内でその使い方や基本的な操作方法について丁寧に説明していただいたため、スムーズに理解できました。関数電卓の使い方不安を感じていた方でも、この講義を受ければしっかりと使いこなせるようになると思います。

さらに、座標計算の仕方も非常に分かりやすかったです。数学が苦手だと感じている人にとって、土地家屋調査士の試験を受けるのを躊躇してしまうこともあるかもしれませんが、この講義を受けると、自信を持てるようになると思います。数学が苦手だとしても、中山式複素数計算を学ぶことで、いつの間にか座標計算が簡単にできるようになり、試験の難しさを感じることなく学習を進めることができると思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

書式ひな形対策講座では、総合講義で取り扱っていた申請書の書き方を再度説明していました。そのため、書式50例の動画については、私は視聴しませんでした。総合講義で十分に内容を学び、理解していたので、この部分についてはもう一度確認する必要はないと感じました。しかし、その後に提供されたアドバンス問題の講義は非常に役立ちました。応用版では、択一で出てきたものの、総合講義では取り扱われなかった申請書の例がいくつか紹介されていたので、それは何度も繰り返し見て、しっかりと学びました。新たに出

てきた申請書の例に対応するため、この講義を繰り返し見ることで、理解を深めることができました。

また、申請書を書く練習については、非常に重要だと感じていたので、毎日少なくとも1個の申請書を書くように心がけました。その結果、最終的には合計282例の申請書を書くことができました。このように実際に手を動かして書くことによって、より実践的に申請書の書き方を身につけることができ、試験に向けた自信ができました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練については、時間に追われていたため、受けるべきかどうか迷いました。かなり迷った結果、やってみることにしました。実際に受けてみると、正直なところ、非常に難易度が高かったと感じました。特に時間に追われていた時期ということもあり、答練を進めていくうちに、最初は自信があったものの、次第に自分の実力に不安を感じるようになり、追い詰められた気がしました。これにより、少し自信を失った部分もありました。

しかし、もし時間に余裕があるのであれば、実践答練は自分の実力を確認する良い機会だと思います。実際に試験のような形で問題を解くことで、自分の弱点を発見したり、解答のスピードを向上させるための練習になるかもしれません。したがって、試験の直前ではなく、時間的余裕がある時に実践答練に取り組むことができれば、非常に有益な学習ツールとなるとと思います。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策過去問解説講座では、非常に重要な情報を得ることができました。特に、「会社法人等番号の書き方」に関する説明がとても役立ちました。この部分は、実際の試験でも非常に大切な知識であり確認できたことは、試験に向けて非常に良い学習となりました。

ただ、この内容は一度確認してしまうと、あまり復習する必要がないようにも感じました。しかし、もしこの講義で「会社法人等番号の書き方」について確認していなかったら、最新の知識を取り入れられず、知らず知らずのうちに試験で減点されていた可能性があります。そのため、この講義を受けて本当に良かったと感じています。この講義は合格を目指す人にとって欠かせない学習内容だと思いました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想問題についても、実践答練と同様に、試験直前で時間に追われている時期だったため、受けるべきかどうか迷いました。しかし、どなたかが「これ結構当たるよ」とおっしゃっていたことを思い出し、その言葉を信じて、一度受けてみることにしました。実際に解いたことで、その分野を再度復習する良いきっかけになりました。

試験本番に備えて、重要なポイントを再確認できることは、非常に心強く感じました。時間に追われている中でも、直前予想問題を受けることで、しっかりと復習ができ、答練よりも簡単に試験に合わせた難易度で試験直前の不安を減らすことができたので、受けて本当に良かったと感じています。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

アガルートはスキマ時間の活用に最適

生駒 智一さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

私は、前職は調査士業務とは全く無関係の仕事をしていました。

転職を決意し業種を探していたところ、将来性があり、外業務と中業務がありバランス良く働けることや、いずれは地元で開業等の選択肢が取れる土地家屋調査士の業務が目にとまり、目指そうと思ったのがきっかけです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は、前職の休みが不規則で子育て等もあったため、通学するのは厳しいと感じオンラインで受講できる予備校を探していました。

するとアガルートが検索上位に出てきて、調べたところ合格実績も申し分なく、オンラインで受講でき、無料体験の講座もわかりやすく、これなら無理なく学習できると感じたので、アガルートの講座に決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私は、令和5年の10月頃から学習をスタートしました。総合講義の民法から始め、不動産登記法、調査士法とすすめていきましたが、中山先生の講義は、明瞭でわかりやすく、進めやすかったです。翌年2月頃に総合講義動画を終え、そこからは過去問や書式ひな形対策講座動画を繰り返し視聴し、定着させていきました。

また、記述式の学習については、三角定規の使い方や関数電卓の使い方等の講義視聴を3月頃から始め、測量士補試験が終わった5月末あたりから、1日1問を目標に学習しており、わからない部分は、テキストに再度立ち返り、理解するよう努めていました。

学習時間については、平日勤務後や週末は子育て等もあったので、1時間以上のまとまった時間を確保するのが困難な状況でした。そこで、10分以内のスキマ時間を作り、過去問の肢文を1つ読む等の小さな学習をコツコツと積み重ねてきました。また、通勤時間はもちろんのこと、子供を寝かしつけたあとも時間を確保し、翌日の仕事に影響が出ない範囲

で毎日学習を継続しました。その積み重ねで合格することができたと感じています。アガルトの過去問や書式ひな形対策講座は、1問ごとに視聴できるので、スキマ時間を活用したい私にとって、最も効率的に学習することができたと思います。

合格については合格者数の増加もあり、運が良かったのもありますが、最後まで諦めずに学習を続けてよかったです。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

測量士補の講義動画は、実際の測量機械等を見ながらの説明があり、非常にわかりやすかったです。

また、計算については、私にとって久々の計算で、合格レベルまでもっていけるか心配な点もありましたが、基礎的なところからやっていただけるので、計算についても理解を深めることができました。分や秒等の初学者には難しい分野についても、しっかりと理解することができ、それらの計算問題についても解説がわかりやすく、反復的に計算問題を学習したことで、定着させることができました。

学習期間については、土地家屋調査士の学習と並行して3月初旬頃から講義動画の視聴をスタートさせました。4月中旬からは、過去問題集を中心とした学習に切り替え、試験日までは、過去問をひたすら解いていました。

土地家屋調査士試験の学習がメインだったので、土地家屋調査士試験の学習に疲れたら、測量士補の計算をやるような形で、効率良く学習を進められました。一定の点数を取れば合格できる測量士補の試験ですが、結果は、合格点プラス1点での合格と、ギリギリでの合格を勝ち取ることができました。これから土地家屋調査士試験の合格を目標に測量士補を学習される方につきましては、1～2か月ほどの直前の学習期間を設けて学習されることをお勧めします。

この試験を受からないと、土地家屋調査士試験の合格はかなり厳しいものとなってしまいますし、試験は1年に1度しかないので、1回目での合格がやはり理想的です。

試験直前期になったら「測量士補試験 過去問題集上巻、下巻」を幅広く学習し、計算がいやになるまで学習するのが、合格への近道だと思います。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる計算問題のテキストは、測量士補試験の学習の中で一番活用したテキストだと思います。特に直前期で活用させていただきました。

「測量士補試験 過去問題集上巻、下巻」のテキストは、試験を網羅的に押さえることができますが、範囲が広いため、3時間で押さえる計算問題の活用により、要領良く学習を進めることができました。

わからない問題が出てきたときは、総合講義のテキストに立ち返り、一つ一つわからない問題を消していくことができました。

テキストもコンパクトなので、持ち運びにもかなり便利で、本テキストと計算用紙とペンさえあれば、どこでも学習することができ、スキマ時間を使って学習を進めていた私に

としては最適の問題集でした。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる文章問題のテキストも、3時間で押さえる計算問題のテキストと同様に、かなり活用させていただきました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試は、時間を計って行うことで試験本番のイメージをつかむことができました。また、過去問テキストで解くことができていた問題でも、実力診断模試で間違えてしまった問題も多々あり、模試を活用した後は身を引き締めて学習することができました。

試験本番では、1つの計算ミスが不合格につながってしまうこともあります。実力診断模試では、解き方は理解しているものの途中の計算を誤ってしまい、間違った選択肢を選んでしまったこともあったので、本模試により、一つ一つの計算を確実に行っていくことの大切さを学ぶことができました。

そのおかげもあり、本番も焦らずに問題に集中して取り組むことができましたので、実力診断模試は必ず取り組むことをお勧めします。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

導入講義については、学習の進め方やこれからどのような分野の学習をしていくのか把握するのに大いに役立てることができました。私にとって土地家屋調査士試験は初めての試験で未知数なことが多々あったため、試験自体への理解にもつなげることができました。

勉強の始めは、総合講義の理解ももちろん大切ですが、試験制度や学習方法を頭に入れるのも大切になってきますので、特に1度も土地家屋調査士試験を受けたことがない初学者の方はめんどくさがらずに1度は視聴することをお勧めいたします。

また、総合講義を進めていくと正しい学習方法を忘れてしまうことが多いので、勉強方法について誤りのないように、何度か講義を見直すことをお勧めします。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

全体的に、中山先生の明瞭な説明がわかりやすく、初学者にとって理解しやすい内容でした。講義動画を見る前、総合講義のテキストの分厚さを目の当たりにして、「本当に大丈夫かなあ」という思いでしたが、講義動画が良いものであったので、楽しく講義を進めることができました。

講義中に聞き逃した部分があったり、わからない単語が出てきて意味を調べたいときは、ストップして確認をすることができたのもアガルートならではのメリットだったと思います。

第1編の表示登記総論については、要点がつまっているから何度か繰り返し視聴して理解した方がよいとの話をされていたので、第1編については何度か講義動画を見返し、またテキストでも数回見直し、理解を深めることができました。

また、試験で問われやすい部分については、「Point」や「Caution」マークがついており、

復習する際にもかなりわかりやすかったです。特に、択一問題での答えに直結しているような部分が多かったので、上記のマークが出ているときは必ず要点を押さえるようにしていました。

記述式の問題についても、解き方のテクニック等は過去問解説講座（記述）の講義動画を見ることになるのですが、登記の目的や添付資料等は、この講義動画で身につけることができましたので、過去問解説講座を受講し始めた際も、滞りなく進めることができました。

動画視聴に意外と時間を要するので、第1編以外は1度のみの視聴でしたが、択一や記述の過去問を解く際に重要な知識となりますので、忙しく疲れている中でも全集中して講義を視聴し、短時間でインプットすることをおすすめいたします。

過去問解説講座

過去問解説講座（択一・記述）については、何度も見直して知識を定着させたことで短期合格につなげることができたと感じています。択一問題の動画については、スキマ時間を活用しながら勉強することができるので、空き時間を見つけては動画を聞く癖をつけていました。

また、何度も聞いていくうちに慣れてくるので、中山先生が解答を話す前に頭の中でこの肢文はどこがどのような理由で間違えているのかを想像しながら聞くようにしたことで、知識の定着につながったと思います。

記述については、初学者の私でもかなりわかりやすい解説でした。問題文をかなり詳しく読み解いていただけるので、要点を理解するのに役立ちました。記述は、択一も同様ですが、動画視聴後の反復練習が肝となります。最初の頃は、1問解くのにかなり時間がかかってしまい、落ち込んでしまいました。ですが、そこでくじけずに反復練習を行えば必ずできるようになりますので、諦めずに取り組むことをお勧めします。本番では、記述式は平均点以上に点数を取れました。本講座の効果は間違いのないものです。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

定規の使い方講座は、何もわからない状態でも1から丁寧に教えていただけるので、非常に良かったです。講義動画では、2つの三角定規が画面に映り、どのような動かし方をすればよいのか等、これ以上ないくらい細かく説明がされています。

試験本番では、時間がない状態で急いで問題を解かなければいけない状況となりますが、そのような状況下でも慌てることなく、落ち着いて定規を動かして作図を行うことができます。

また、問題を通じて何度も手を動かす練習をすることが肝となります。最初は、正確に製図するのに時間がかかってしまうと思いますが、必ずできるようになります。頑張ってください！

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

複素数計算については、問21の土地の問題を短時間で解くために必須の知識と言えます。

記述式問題は、限られた時間のなかでかなりの分量の情報を読み解き、捌いていかなければなりません。そのような中で、複素数計算をマスターすることは、合格するために必須といえます。

私は、講座の最後にある練習問題を何度か反復して練習しました。講義で教わったテクニックを手が覚えるまで行ったことで、本番で通用できるレベルまで底上げを行うことができたと思います。少し大変だと思いますが、合格した今だからこそ、あの時耐えて良かったと思っています。最初はかなり時間がかかってしまい、マスターするまでに時間がかかるかと思いますが、慣れてしまえば記述式の問題が楽しく感じるようになってくると思いますので、是非頑張ってください。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

書式ひな形対策については、試験終了して改めて大事な講座だったと痛感させられました。本講座を利用して、50個の申請書例を手書きで覚えていくわけですが、なかなか覚えられず、苦戦しました。

ですが1日1問と、しっかりと目標を定めて、毎日コツコツと行っていたことで、本番の限られた時間の中でもケアレスミスをすることなく記載することができたと思います。

土地家屋調査士試験は、中には0.5点や1点足りずに落ちてしまう方もいます。そのわずかな点を取りこぼさないためにも本講座を通じて、申請書の書き方をマスターして反復して練習していただければ良いと思います。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練については、勉強時間を確保することができず、第一回のみの解答となってしまいましたが、時間を計って行いました。1番得られたものは、試験時間の2時間半という時間がいかに短い時間なのかというのを痛感できたことでした。まず、記述式については、最後まで終わらせませんでした。一通りの問題解答の中で、どこに時間をかけすぎてしまったのか等を再度分析することができる良い機会だったと思います。

択一式問題についてはできる限り時間をかけずに捌くことが大切で、本番で時間をかけないようにするためには、やはり普段から過去問に精通して、問題を一瞬で判断できるようにしていく必要があると思います。

記述式問題については、落ち着いて読み解き、要点を理解し、登記の目的は何なのか等、問題を照らし合わせながら読み解くのが大事だと思います。記述の問題の読み進め方については、過去問講座で詳しく解説をされているので、是非参照してください。

本番は、人にもよりますが手が震えるほど緊張します。私も本番はかなり緊張しましたが、実践答練のおかげで和らげることができたと感じています。本番さながらの実践的なものになりますので、時間が取れない方でも1度は取り組むことをお勧めします。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策過去問解説講座については、直前期の知識の確認に役立てることができまし

た。土地家屋調査士試験は、最新の法令が問題として出題される可能性があるため、法改正には触れておく必要があると考えます。

択一や記述の過去問に一通り慣れてきて時間を作ることができたため、余裕をもって取り組むことができました。特に、択一問題は知識の量が勝敗を分けると言っても過言ではないので、本講座にて知識を増やして本番に臨めれば理想だと思います。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試については、実践答練にて1度通して問題を解いた経験がありながらも非常に有意義な模試となりました。

改めて、試験本番の時間配分の大切さを再確認できましたし、択一式や記述式でわからない単語が出たら勇気を出して飛ばすという自分なりのテクニックを身につけることができました。

また、解き終わって見返すと、簡単な部分で間違えていたり記載漏れがあったりして、自分の実力を直前で再確認できます。残りの時間をどの分野の勉強に費やすのかを決めることができるので、時間が取れない方でも取り組むことをお勧めします。

講師へのメッセージ

試験本番の日、明治大学前にて中山先生、山崎先生、高野先生とお話させていただき、大変光栄でした。ありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

忙しい社会人受験生にとってアガルートは最適な選択肢

佐藤 方己さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：2回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

私は司法書士事務所に補助者として約20年勤務し、不動産登記業務に携わってきました。事務所の土地家屋調査士部門を立ち上げるため、上司と共に資格取得に挑戦しました。また、個人としても土業の世界で資格を得て、本職としてさらに活躍していきたいという思いが大きな動機となりました。長年培ってきた知識と経験を生かし、新たな分野にも挑戦することで、より幅広い業務に対応できる専門家を目指したいと考えています。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

インターネットで各社の体験講座の動画を視聴し、情報収集を進める中で、中山先生の講座だけが他とは一線を画していると感じました。明快な説明とテンポの良い進行に引き込まれ、「この先生の講座なら1年以上の学習も続けられる」と直感的に確信しました。さらに、テキストが見やすくコンパクトである点や、動画が短く区切られており、働きながらも隙間時間を活用しやすい点も魅力的でした。

合格体験記・学習上の工夫

一言で言うと、アガルートの先生方がおっしゃっていたことを忠実に実行することを徹底しました。

まず、仕事をしながらの学習だったため、朝の時間を活用することを習慣化しました。夜は疲れが溜まり集中力が続かないことも多いため、朝の時間帯に確実に勉強することで、安定した学習ペースを維持しました。

また、私は定期カウンセリングを利用しませんでしたでしたが、職場の上司と共に資格取得に挑戦したため、常に進捗状況や疑問点を共有することができました。このような環境がモチベーションの維持につながったと感じています。ただし、もし定期カウンセリングを利

用していたら、日々の学習の中で「本当にこの勉強方法で合っているのか？」という不安を解消できたのではないかと思います。

学習時間の管理には、可視化ができるアプリを活用しました。目標学習時間と実際の学習時間を記録することで、進捗を確認しながら学習計画を調整することができました。また、仕事上、車での移動時間が多かったため、その時間を無駄にせず、講義の音声データを聞くことでインプットの機会を増やしました。

学習に関する情報収集においては、他の予備校の情報を取り入れると学習方針にブレが生じる可能性があると考え、アガルートの教材と情報のみを活用しました。その代わり、アガルートのYouTubeやX（旧Twitter）を積極的に活用し、最新の情報を得るようにしました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士の勉強をしている中で、全く触れたことのない分野である測量に挑戦するのは正直不安でした。特に計算に苦手意識があり、測量士補の学習に取り組む際には、理解できるかどうか大きな不安要素でした。しかし、総合講義を進めていくうちに、少しずつ理解が深まり、講義の内容が自然と頭に入っていく感覚を得ました。

土地家屋調査士の学習とは異なり、講義を進めながら過去問を解いていく方法だったため、知識がすぐに定着する実感がありました。特に過去問を解くことで、実際の試験形式に慣れることができました。

ただ、初回の解説を聞いたときは、「もう少し深掘りして説明してくれれば、もっと理解しやすいのに」と思ったことも何度かありました。しかし、そのまま講義を進めていくうちに、不思議とその内容が自分の中で整理され、最終的には問題が解けるようになっていたのです。計算に対する不安も徐々に克服でき、思いのほかスムーズに進んでいきました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

測量士補試験の学習では、基本的にテキストと過去問を中心に進めました。測量士補試験は過去問と類似した形式で出題されることが多いため、理解することよりも慣れることが重要だと感じました。

そこで、直前期の復習として「3時間で押さえる計算問題」を活用しました。このテキストは薄く持ち運びに便利だったため、仕事の昼休みなどの隙間時間を有効活用できました。短時間で計算問題のポイントを確認でき、試験本番までに計算の手順をスムーズに思い出せるようになりました。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

私は、測量士補試験の学習において、基本的にはテキストと過去問を中心に進めました。しかし、仕事をしながらの勉強だったため、隙間時間を活用する工夫が必要でした。そこで役立ったのが「3時間で押さえる文章問題」です。

このテキストは薄くて持ち運びがしやすく、通勤時間や昼休みなどの短い時間でも手軽に復習できました。一問一答形式なのでテンポよく解け、自分の苦手な部分を明確にするのに最適でした。特に、曖昧な知識を持っていた項目を発見しやすく、弱点を効率的に洗い出せました。

「3時間で押さえる文章問題」で浮き彫りになった弱点は、改めてメインのテキストや過去問を使って復習しました。この繰り返し学習により、知識の定着が格段に向上し、試験本番でも自信を持って解答できました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

測量士補試験対策として、実力診断模試を活用しました。

測量士補の過去問演習は分野別に進めていく形だったため、試験本番と同じ形式で、通して問題に取り組める模試は、総合的な実力を確認するのに最適でした。実際に模試を受けてみると、先生方の仰っていた時間に余裕のある試験であることを疑似体験できたと感じました。

私は結果として測量士補の学習に時間を使いすぎたと感じていますので、自分の学習状況を確認する意味で、もう少し早く模試を受けておけばよかったという気もしています。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

この導入講義を最初に受け、試験内容の概要や学習する教科について大まかなイメージを固めることができました。不動産登記法など関するプレ講義のような内容や、これから進める学習のスケジュール感も明確に示されました。講義の雰囲気は非常に明るく明快で学びやすそうな印象を強く感じました。

ここで中山先生が仰っていたアドバイスを忠実に実践したことで、効率的に学習を進めることができ、合格に繋がったと感じています。初めて資格試験に挑戦する際は不安もありましたが、この講義を受けることでポジティブな気持ちで取り組むことができました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

私は仕事をしながら土地家屋調査士試験の合格を目指しており、効率的な学習方法を模索する中でアガルートの総合講義に出会いました。その中でも、中山先生の講義とテキストは、アガルートの最大の特徴であり、魅力であると感じました。

他校の講義は、土業研修のような形式で、座学的な要素が強いものが多い印象でした。しかし、中山先生の講義は、それらとは一線を画し、明るくテンポの良い進行で、試験合格に必要なエッセンスのみを凝縮した、非常に密度の高いものでした。無駄を削ぎ落とし、本当に必要な知識だけを短時間で吸収できるこの講義は、限られた時間の中で学習する受験生にとって、これ以上ないほど効果的なものだったと思います。

また、講義のチャプターが短い時間で区切られている点も、自分にとって大きなメリットでした。仕事をしながら学習していたため、まとまった勉強時間を確保するのは難しく、スキマ時間を活用せざるを得ませんでした。短い時間で区切られた講義構成のおかげで、

通勤時間や休憩時間を活かしながら効率よく学習を進めることができました。

さらに、この講義は一度聞いただけで終わるものではなく、二度三度と繰り返し聞くことで、その都度新たな気づきや理解の深まりがありました。初学者の段階では理解しきれなかった内容も、知識が積み上がるにつれて、よりクリアに見えてくるようになり、復習するたびに「こういうことだったのか!」と腑に落ちる瞬間が多くありました。

振り返ってみると、自分が今年の試験に合格できたのは、中山先生の講座のおかげだと確信しています。講義のスタイルには相性があるかもしれませんが、少なくとも私にとっては、この講座なしでの合格は考えられませんでした。忙しい社会人受験生にとって、短時間で効率よく学習できる環境を提供してくれるアガルートの総合講義は、最適な選択肢だったと思います。

過去問解説講座

過去問解説講座（択一・記述）では、平成17年からの約20年分の過去問を扱っており、抜ける論点がなく網羅的に学習できたと実感しています。

アガルートの先生方が常に過去問の重要性を強調されていたこともあり、私は迷い無く過去問学習を中心に据えました。過去問を繰り返し解くことで、試験における重要論点の理解が深まり、本番でも自信を持って問題に取り組むことができました。

また、解説文がテキストと同じ文言で統一されているため、苦手な論点をテキストのデジタルブックで簡単に検索できる点が非常に助かりました。これにより、曖昧な知識をすぐに補強し、効率的に学習を進めることができました。

記述の解説講座については、問題文の読解に重点を置いた内容となっており、細かな計算の手順や作図の過程にはあまり触れていませんでした。私自身、作図に不安があったため、先生の作図の過程を動画で確認できるようになっていれば、より効率的に作図の訓練ができたのではないかと感じました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

私は土地家屋調査士試験の学習を始めた当初、三角定規を使った作図に対して少し不安を感じていましたが、「新・定規の使い方講座」を受講してみると、初めての作図にしてはそれほど時間をかけずに基礎を身につけることができたことに驚きました。講義の内容は非常に分かりやすく、時間をかければなんとか図面を描けるようになりました。

しかし、土地家屋調査士試験は時間との戦いです。作図に時間をかけていては、合格は難しくなります。そこで、講義を受けた後は本番を想定したタイムスケジュールを意識しながら訓練を続け、繰り返し練習するうちに作図がごく普通の作業になっていきました。

この講座は、その訓練の第一歩を踏み出すために最適な内容となっており、初心者の私でも無理なくスタートラインに立つことができたと思います。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

最初は複素数のすごさがよく分からず、ただ公式を丸暗記するように学習を進めていま

した。しかし、学習が進むにつれて、この土地家屋調査士試験が時間との勝負であり、複素数計算が強力な武器であることがじわじわと理解できるようになりました。

複素数を活用することで、測量士補試験で学んだ座標法と比べても圧倒的に計算スピードが向上し、本試験でも時間ギリギリながら解答を進めることができました。講義では「この場合はこの計算をする」といったパターンを覚える形で進められるため、深い理論理解がなくても実践的な計算ができるようになります。試験合格のための必須ツールの取り扱い説明書のような講義でした。

また、講座の最後にある練習問題は計算のエッセンスが詰め込まれており、確実に解けるようになれば試験での実践力が身につけていると実感することができました。

もし複素数を身につけていなかったら、今年の合格は100%なかったと思います。それほどまでに、この講義は私にとって重要なものでした。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

「書式ひな形対策講座」は、本試験に必要な申請書の書式のみを厳選した内容であり、書式に特化して集中的に学べる点が大変魅力的でした。効率的に学習を進められたことで、試験対策において大きな助けとなりました。

特に良かったのは、すべての書式に登記前および登記後の登記記録が付属していた点です。単にひな形を暗記するのではなく、登記の流れを視覚的に理解できるため、実務を意識した学習が可能でした。その結果、単なる暗記にとどまらず、より実践的なイメージを持って書式に取り組むことができました。

また、申請書を一通り学習することで、個々の書式の内容だけでなく、表示の登記全体における記載の傾向や一貫したパターンを感覚的に身につけることができました。こうした細かなニュアンスが自然と理解できるようにテキストが作成されており、非常に効果的な学習ができたと感じています。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練を受講した感想として、最も印象的だったのは、過去問を重視するアガルートの学習方針の中で、新問に挑戦できる貴重な機会だったことです。過去問学習だけではカバーしきれない初見問題への対応力を鍛える点において、実践答練は非常に有益でした。

実践答練は全3回と回数が限られており、分量的には「少し物足りないかな」と感じる部分もありましたが、その分、1回1回が本番のつもりで挑戦し、また各回を丁寧に振り返り、理解を深めることができました。特に、時間配分感覚をつかむための実践的な演習として役立ちました。

私は7月から3週間おきに全3回を受講しました。このスケジュールを選んだ理由は、本試験の直前期に挑戦すると、もし結果が振るわなかった場合にリカバリーの時間が取れず、必要以上に自信を失ってしまうリスクがあると考えたからです。適度な余裕を持って実践答練をこなすことで、復習を徹底しながら弱点を補強することができ、最終的には本番に向けた確かな自信を得ることができました。

実践答練は、過去問演習だけでは得られない新たな視点や問題への対応力を養う貴重な機会となりました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策過去問解説講座を受講した際、特に印象に残ったのは、法改正自体がそれほど大きなものでなかったため、講義が非常にスムーズに進んだ点です。講義自体はすぐに終わり、特に新しい内容に追われることはなく、既に学習していた過去問の知識に大きな影響はありませんでした。それでも、改正事項についての解説が非常に丁寧で、改正法に関するテキストデータが既存のテキストに直接反映できる形で配布されたことは、非常に便利でありがたかったです。この対応により、改正箇所を効率よく学ぶことができ、学習の進行をスムーズに保つことができました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

私は試験前最後の腕試しとして、本試験の3週間前に実力診断模試を受験しました。この模試は本試験と同じ形式で実施されるため、自分の現在地を正確に把握する良い機会だと考えました。

結果は択一16問正解と振るわず、当初の想定よりも得点が伸びませんでした。これを受けて、直前期の学習プランを見直すことを決意。当初は記述の訓練に重点を置いた学習を進めていましたが、思い切って総合講義に立ち戻る時間を増やす方針に変更しました。この判断が功を奏し、本試験では択一20問正解でき、無事に合格することができました。

アガルートの教材は理論や基礎を固めるのに非常に優れていますが、本試験形式の新聞アウトプットが少なく、今までの学習が本番で通用するのか若干の不安がありました。ですが、結果としては直前予想模試を受け、自分の弱点を明確にし、本試験に向けた最適な学習プランを再構築することで結果を出せたと思います。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

初学者でもわかりやすい講義と教材 約
800 時間で合格

富樫 暁さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

営業やサービス業といった全く異なる業界で会社員をしておりましたが、今後を見据えた時に手に職をつけて長く安定的に働きたいと思っていたところ、司法書士である家族から土地家屋調査士という仕事を教えてもらいました。ゆくゆくは独立もしやすい資格という点も魅力的で、最後のキャリアチェンジとして思い切って挑戦することにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士試験については参考書も少なく独学での合格は極めて難しいと思いました。家族が以前アガルートで講義を受講しており、教材や講師の方の教え方がとても分かりやすいとオススメしてくれたのがきっかけです。

合格体験記・学習上の工夫

今まで長期間勉強をしたことが無くどのように進めるかも分かっていなかったので、導入講義で中山先生が教えてくださった流れを信じその通り勉強を進めました。

ただ、受講開始したのが試験まで丁度10カ月という時期でした。会社員として勤務しながらの戦いになるため、効率良く勉強を進めるためにまず全体スケジュールを組みました。そこから月ごと・週ごとの勉強目標を計画し、学習アプリで管理することで常に進捗を意識しながら取り組みました。

また、苦手部分を克服するために、現状の理解度をしっかり把握することを重視していました。

理解を深めるために択一は6周、記述は3周行いました。また、試験2か月前からは本番を意識して、試験時間と同じ時間内で一通り解答する模擬練習を繰り返し行いました。

そのお陰が当日で最後まで戦う体力や時間配分が身につき、試験終了前10分間の見直し

時間も取れました。

平日は3時間、休日は6時間の勉強スケジュールで、測量士補と土地家屋調査士合わせて10カ月間で約800時間の勉強時間でした。一般的に言われている必要勉強時間よりだいぶ少なかったですが、教材がわかりやすく、何より中山先生の講義がとても理解しやすかったお陰です。

私の場合は全く業界に関する知識も法律に関する知識もないド素人でしたが、中山先生の講義は初心者でも苦手意識を持たず、具体例の説明などがとても面白いので大変楽しく勉強できました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

市販のテキストと比べると格段に薄いですが、合格のために必要な知識が的確にコンパクトにまとめられているため非常に効率よく知識をつけられると思います。知識を定着させるためには繰り返し読み込むことは必要だと思いますが、逆にこのテキストを網羅すれば合格に必要な知識が身に付きます。

動画も短い時間で細かく区切って作られているため、どこからどこまで視聴するか、日々の勉強スケジュールを立てやすいです。

元々数学が得意ではなかったこともあり、今回の試験勉強全体で一番苦労したのが測量士補の計算問題でした。しかし、計算方法や関数を、図を使った説明があったのでなんとか覚えることができました。

業界未経験のためトータルステーションなどの測量に使用する機器自体見たこともありませんでしたが、動画内で実際に機器を使用しながら使い方や測量方法を説明してくださったので、イメージができたことで深い理解に繋がりました。

あくまで測量士補合格の目的は土地家屋調査士試験の午前免除のため、完璧を目指さず、基礎部分はしっかり押さえつつも出題頻度が少ない難しい問題はあまり深追いしすぎないよう意識しました。

試験合格のためにどこを押さえるべきかは、講義の中で説明してくださったので、その判断を間違えることなく効率的に勉強できました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

高校生の頃以来、三角関数はもちろん数学にも全く触れることがなかったため測量士補の計算問題は最初から不安が大きかったのですが、このテキストを2回繰り返したことで必要な計算を身につけることができました。

全80Pくらいの薄いテキストですが、項目ごとに過去問と解説がまとめられているため、これさえ押さえればいいんだ！と気持ちが楽になったのを覚えています。持ち歩きもしやすいサイズなので移動時間や、ちょっと内容を復習したいときにすぐに手に取って疑問点を解消していました。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

テキストを見開きにしたときに、左ページに問題、右ページに解答が記載されていて、用紙などで解答を隠しながら一問ずつ解いていけるので、問題に対する正誤や解説がすぐに確認できるのが良かったです。効率よく知識を定着できるようにするために受講生のことを考えたレイアウトになっていると感じました。

問題も項目ごとに過去問題がまとめられているため、勉強スケジュールも組み立てやすく、スキマ時間にも2.3問解いたり柔軟な学習ができました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

試験の1週間ほど前に模試を行ったのですが、28問中22問正解できて合格への自信に繋がりました。また、間違えた箇所を復習することで、自身の苦手な計算や知識が曖昧なところを改めて洗い出すのに活用できました。模試問題は本番と同じような順番・レイアウトで作成されていたので、実際の本試験をイメージしやすかったです。

本試験の結果は模試同様22/28点でしたが、直前で実力把握と対策ができたのが助かりました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

合格に向けてどのようなスケジュールで勉強すべきかをアドバイスしてもらえたので、勉強期間全体のイメージができたことで計画を立てて無駄なく勉強に取り組みました。

まず、総合講義をとりあえず一通り進めることで、法律初学者や実務未経験でも調査士試験に必要な知識がどのようなものか、全体把握できました。その次に、択一で満点取れるまで繰り返し反復し、基礎知識が定着してから記述に取り掛かりました。

テキストも複数ありますが、導入講義で進め方を教えてもらったことで、どの順番で進めればよいか明確化できました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

民法・不動産登記法・調査士法、どれも全く触れたことがありませんでしたが、項目ごとに関連する条文や単語の説明があったり、図解や表も多いので初学者でもとても理解しやすかったです。また、テキストは全ページカラーで重要なところは色付けされているのでマーカーを使う必要もありませんでした。

講義の進め方ですが、まずは分からないところがあってもとりあえず動画視聴を進めました。一つ一つのチャプターも短く区切られているので、集中力を継続したまま最後まで視聴できますし、日々の勉強目標も立てやすかったです。またチャプターが進んでいくことで何パーセント視聴しているかのグラフも増えていくので、勉強しているという実感ができたのもモチベーションに繋がりました。

動画内で中山先生が具体例の説明やプラスアルファで話してくれたことの中で、理解を深めるのに必要そうな内容はシャープペンで追記して勉強を進めました。テキストだけでも十分に分かりやすいですが、自分用に追記しながら勉強したことでより理解できたと思

います。

テキストの最後には索引表もあり、内容を確認したいときにその項目がすぐに探し出せるので、振り返って勉強するときや疑問が出てきたときに効率よく解消できました。

過去問解説講座

本番、択一で逃げ切り点をとれるように、過去問全問満点とれるまで繰り返し学習しました。択一はトータルで6周行いました。問題ごとに細かくチャプター分けされており、テキストも裏面に正誤解答と解説が記載されているため、間違えやすい肢をピックアップして重点的に勉強して克服できました。過去問をやり込んだお陰で本番では逃げ切り点どころか択一満点取れました。

記述については問題の趣旨をしっかりと把握して論点を外さないことを意識して勉強しました。記述はトータルで3周行いました。試験問題に精通した講師が問題文の読み取り方や重要点のメモの取り方を解説動画で説明してくれたので、自己流で変に考える必要がなく、その通り行うことで最短で合格点に近づけたと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

私はどちらかというとズボラな性格なのでミリ単位の作図については不安がありましたが、定規を正しく使用すれば綺麗に作図できることに快感を覚えました。総合講義のテキストで見た図面を自分の手で作図できるのが面白く、説明動画も分かりやすかったのもあり、作図の練習が楽しいくらいでした。また、作図をするのに必要な器具について、講師オススメのものを具体的な商品名も教えてくれるので、どれを購入するか迷うことがなかったので助かりました。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

普段使用する電卓よりも見慣れないボタンが多く不安でしたが、電卓のセットアップ方法や使用するボタンを丁寧に一つ一つ教えてくれるので、講義を終える頃にはスラスラと操作できるようになりました。

過去問に頻出の交点計算や放射計算は染みつきました。第二余弦定理を使用した逆計算やトラバース調整などのあまり出ない計算式については、計算方法と図解を用紙にまとめて部屋に貼り都度見て忘れないように対策を行いました。また、テキストの最後には必要な計算が詰め込まれた練習問題があるため、これを繰り返し行ったことで複素数計算の実力が身に付いたと思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

様々なパターンの申請書例が網羅されており、追加講義ではさらに複数の申請書例を展開してくれていたのです。どんなケースも対応できるようになると思います。添付書類に記載する事項については具体的な書類もカッコ書きで記載されているので、イメージもしやすく実務にも繋がると思いました。

アガルートHPから申請書様式をダウンロードして、登記の目的や添付書類などの項目

をすべて一通り埋める練習を2周行いました。申請書例自体は沢山ありますが共通する項目も多く、解説動画でもポイントを押さえて説明してくれるので、丸暗記というより理解しながら知識定着ができたと思います。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練は本試験の1か月前から着手しました。過去問は複数回行っているためどうしても問題の一部が記憶に残っていますが、実践答練は初めて解く問題なので自分の実力判断にとっても役立ちました。

過去問では出ていない論点が複数あり、理解しているつもりでも実際に問題を解いてみるとつまづいてしまうこともあり、自身の弱点や苦手箇所を改めて認識することができました。

実践答練を行うときは極力本番と同じ環境で行うことを意識し、午後13時頃から150分のタイマーで設定して行いました。また、本番でどのような会場でも対応できるように、机も狭いスペースで実施しました。

実際に本試験でも、全ての問題用紙、解答用紙、筆記用具を揃えると、使えるスペースは限られています。その環境でもスムーズに解答できる訓練を行ったことで、当日も焦りなく対応できました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正で変わった部分を項目ごとに説明してくれるのですが、どのように変わったのか噛み砕いて説明してくれるのでとても理解しやすかったです。

令和6年度の法改正の中に、申請書に会社法人等番号を記載するときにカッコ書きが不要になったのですが、「申請書を書くときに今後はカッコ書きが不要で間違いないか？」を講師の方が法務局に確認して裏取りもしているとのことだったので、とても信憑性が高い情報ですし、もし本試験で出題された時に減点されないようにと受講生のことを真剣に考えてくれていると感動したのを覚えています。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は本試験の1週間前に行いました。過去問などを繰り返し行ってきたので正直割と自信があったのですが、直前予想模試の成績は択一が基準点ギリギリ、記述は基準点に5点届かず……。本番と同じくらいの難易度で作成されている問題ということで模試の結果に焦りました。

しかし、逆に点数が伸びなかったことで、最後の一週間で徹底的に苦手箇所に向き合い克服できたことで、本試験で合格できたのだと思います。勉強を真剣に頑張ってきたからこそ怠慢にならず、直前予想模試のお陰で現実に向き合うことができました。

講師へのメッセージ

講義が終わるのが寂しいと感じるくらい、人生で一番楽しく勉強できました。

教材・講師・フォロー制度どれも素晴らしく、アガルートで受講したからこそ初学者で

も一発合格できたのだと思っています。今後、資格取得を目指すときは、またアガルトにお世話になろうと思います。

本当にお世話になりました、ありがとうございました！！

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

過去問を完璧にすることを意識

金輪 虎次朗さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

会社に依存しないスキルを身に付けたいと考えており、様々な選択肢を調べる中で、独占業務のある士業に出会いました。士業の中でも、初学者でも1年で合格レベルとされる必要学習時間であったこと、また、デスクワークだけでなく外仕事があるバランスから、土地家屋調査士に魅力を感じたため受験することを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

地方に住んでいるため、オンラインでの講座を探していました。発表されている合格率や金額、合格特典など総合的に判断し、アガルートに決めました。

また、YouTubeチャンネルの発信で1年間の学習で合格できると感じる事ができたことも大きかったです。

合格体験記・学習上の工夫

1年間の学習期間が1000時間となるように意識をしました。学習初期は安定しませんが、中期以降、平日は3時間勉強できるように目標を立てました。YouTubeで講師の方が発信しているように合格するには過去問（特に択一）が重要であると考え、過去問を完璧にすることを意識し、色々なことに手を出さないようにしていました。学習初期の頃はモチベーションの問題から1か月間サボってしまうことがあったため、学習を習慣化できるように意識しました。自身のタイプとして3時間連続で勉強をするよりも、朝・晩1時間半ずつと分散させたほうが継続すると分かったことが良かったです。また、散歩や運転中もテキストの音声データを2倍速で流していて、講義を複数回聞いたことで、初めて聞いたときに理解できなかった内容も少しずつ分かってきたことが良かったと思います。今回は測量士補の合格も目指すダブル合格カリキュラムであったので、測量士補の学習に時間が取られすぎないように測量士補は最低限で合格できるように注意をしました。基本的に学習方法等に独自性は出さず、講師のおすすめする学習方法をできるだけ取り入れる

ようにしていました。相対評価の試験であるため、完璧にするのではなく、ほかの受験生ができる内容を落とさないことを重視しました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士の合格が最終目標であったため、測量士補の試験は最小限の時間で合格することを目標としました。また、測量士補は過去問と同一の問題が相当数あること、合格点が18問以上の絶対評価であることから過去問を重点的に行うようにしました。テキストは初めに2倍速でざっと確認したのみで、すぐに過去問に取り組みました。過去問は1周目を解いてみて、2週目に間違えた問題・疑問が残った問題に付箋を付け、3週目以降は付箋箇所のみを行いました。測量士補の学習は1月から土地家屋調査士の勉強と並行して始め、3月までに過去問がある程度できる状況にしました。その後は5月までは土地家屋調査士の学習を行い、試験前の2週間は測量士補の過去問のみを行いました。試験を受ける際には若干の不安がありましたが、最終的には23問で合格できました。土地家屋調査士の勉強方法と同じで、講師の方がYouTubeで発信していた内容と同じような勉強方法で取り組んだことで最小限の時間で合格できたと考えています。また、テキストの単元ごとに過去問を解くことが推奨されており、講義で聞いた内容の問題にすぐに取り掛かれたことが、とても効果的だと感じました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

私は過去問のテキストで学習をしていたので、3時間で押さえる計算問題のテキストはあまり利用していませんでした。計算問題だけまとまっているとページをめくる手間も減らせるので便利だとは思いますが、しかし、私自身はギリギリで詰め込むと不安に感じやすいタイプなこともあり、利用回数が少なかったと思います。しかし、色々な人の勉強スタイルがあり、本当の最小限で合格を目指す人にはとても有効だと感じました。いろいろな選択肢が用意されている点はとても良いと感じました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

測量士補の勉強は最小限で行っていたため、試験に合格できるか若干の不安がありました。しかし、試験の2週間前に実力診断模試を解いて、合格点以上だったことから少し安心材料になり、試験の本番に臨むことができました。また、実力診断模試の内容が難しすぎたり、簡単すぎたりせずに、できる限り試験を再現しようとしている点を感じられたこともとても良かったです。実力診断模試は最終的に過去問とは違うものであると認識しているため、安心材料として一度解きました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

合格の必要な学習スケジュールを全体的に確認することができるため、学習スケジュールのイメージを掴むことができました。学習を進めていくと導入講義を見返すことは無かったですが、漠然と講義を受けるよりも効率を上げるために準備された講義だったと合格後に振り返ると感じています。導入講義での内容は講師の方がYouTubeで発信してい

る内容でもあると思います。勉強方法に自己流を出さずに講師の方が推奨する方法をできるだけ真似たつもりです。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

自身の能力では1回講義を聞いただけでは理解できないと感じていたため、まず早くインプットを終わらせるために最初から2倍速で講義を聞いていました。2倍速で聞いても講師の方の説明はとて聞きやすく効率アップにととても助かりました。上位合格者の動画等から総合講義を複数回聞くことがとても重要だと言われていたため、他の作業を行いながらのながら聞きを行っていました。毎日少しずつ聞いていたので、試験前までには5回程度は講義を聞くことができたと思います。初めて講義を聞いたときには分からなかった内容や異なった角度での理解は、過去問がある程度できる状態のときに講義を聞いたことで感じる事が何度もありました。私自身の合格の助けになったとても重要な学習方法だったと感じています。講義のスタイルとして丸暗記が必要な箇所が最小限になっており、多くが理解して学習できるようになっているのもとても助かりました。また、過去問の解説と総合講義のテキストで同一の文章が使用されているため、過去問でよく間違える箇所や理解が浅い箇所のテキストの該当箇所を検索することもとても容易にできたため、学習の効率化に繋がって、面倒くさく後回しにすることも無くなりました。

過去問解説講座

択一の過去問解説動画では、全ての肢についての解説が必ず行われているため、過去問で頻出な内容は自然と複数回解説を聞くスタイルになっており、効率的に学習ができると感じました。択一過去問の利用方法として、一問ずつ自分で解いてみて解説を確認する⇒1年分終わったら通して2回解いてみるという流れで使用してみました。すると年度が進むにつれて正解数が増えてきたので、理解が進んでいると実感することができました。また、択一過去問の令和4年度分は実力を確認するために、他年度を複数回解いてみると、時間はかかりましたが、18問正解することができ、学習初期の頃に点数だけという合格点に近づいていたことを確認できたことは自信に繋がりました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士の試験は時間配分がとても厳しく、試験を完走することができない受験生も多いと思います。そのため、記述の作図は素早く正確に書くことがとても重要だと思います。講義ではどんな内容にでも対応できる様々なテクニックが紹介されており、実際の定規の動かし方を動画で確認できることはとても有効でした。書き方が分かれば、あとは過去問を繰り返すことで、考えなくても自然と手が動くレベルに行くことができると思います。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士の試験は時間配分がとても厳しく、試験を完走することができない受験生も多いと思います。そのため、座標計算等は素早く正確に行うことがとても重要だと思

います。現在では、多くの予備校が使用している複素数計算の、圧倒的に速く正確に計算できる複素数モードを使った測量計算の仕方を講義で確認することができます。電卓も使用方法が分かれば、記述過去問を繰り返し解くことで、考えなくても自然と手が動くレベルになります。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

書式ひな形をある程度できる状態にして記述過去問を解いてみましたが、ある程度状態では申請書を書けないことが分かりました。そこで、書式ひな形を完璧に覚えるために学習初期の段階では、書式ひな形テキストを5日間で回すことができるように1日10問ずつ解いていました。何度も繰り返し行っていると申請書を一言も間違えることなく書くことができるようになりました。記憶定着後は1日3問ずつくらいに落とし、忘れない程度に学習をするようにしていました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練は過去問とは違うものであるため、あまり重要視していませんでした。試験前に解いてみましたが、択一正答数が確か15問程度とあまりよくなかったと思います。しかし実践答練を解いてみて、自身の理解が不十分であった点や聞き方が少し変わると間違えた点があったので、解答を確認すると理解度が増した感覚がありました。今回の記述に関しては、追加された書式ひな形での問題が確かあったと思いますが、実際の問題として解くことができよかったのと、追加分もしっかり覚えていることを確認できたことが安心材料になりました。講師の方がYouTubeでも発信されていたと思いますが、実践答練ができず新規の問題が出てても不安にならず、みんなができることをしっかり勉強する意識を保つようにしました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

今回の法改正対策過去問解説講座は受講していないため、感想や利用方法について特別に書くことはありません。受講しなかったことに特に大きな考えがあったわけではありませんが、試験勉強中期以降はアガルートのページにログインしていなかったため、法改正対策過去問解説講座のアップロードに気づくのが試験間近になってしまったため、今回は受講することを諦めました。しかし、法改正があった内容をしっかり更新している点はとても素晴らしいと思います。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は過去問とは違うものであるため、あまり重要視していませんでした。実践答練より少し容易に作成されているのかなと思った記憶があります。

私自身は過去問をしっかりと意識が強かったので、直前予想模試は実践答練と同じ感覚で解いてみただけという感じです。直前予想模試でできなかった内容があっても、あまり不安にならないように意識し、試験直前でもあったため勉強方法として手を広げすぎないように注意をしていました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

とにかくアガルートの教えを素直に愚直に実行しただけ

高橋 喜尚さん

2024 ダブル合格カリキュラム / 定期カウンセリングあり

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

もともと埼玉県で新車ディーラーの営業をしていましたが、管理職になって激務になり体調がすぐれなくなったのをきっかけに仕事を変えることを考え始めました。

サーフィンが趣味で、どうせ仕事を変えるなら海の目の前に住んでいつでもサーフィンができる環境にしたいと思い、千葉県に移住を決意。中古の古い平家建てを購入しDIYでリフォームをしました。その経験から職人も楽しそうだと思い、電気工事士の資格を取り現場作業員になりました。電気工事士になって4年が経った頃、やはり人と接する仕事をしたいという気持ちになったのと同時に事務作業と外の現場作業と両方好きだったためそのような仕事がないか考えるようになりました。

友人が不動産鑑定士をしていたのもあり、士業で探していたら土地家屋調査士を見つけました。調べたらまさにこれが自分が一生やっていく仕事だと思い試験合格を目指すこととなりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

インターネットで調べたところ、難関資格で勉強時間は1000～1500時間は必要で作図や関数電卓を用いた記述試験もあり試験時間も短く完走できる人が少ないとのことから、独学では難しそうなので予備校を利用しようと考えました。

住まいが千葉県の田舎のため、通学は難しいので通信講座で探していました。ネットで数社見ましたが、他の予備校はホームページの作りが古く、見づらくて内容も分かりにくかったです。飲食店や旅館などであると思うのですが、綺麗に整理整頓し掃除が行き届いているところは、味もサービスも良いところが多い印象があります。それに営業マンでもそうですが中身が外見に出ることが多いのではないかと思います。アガルートのホームページはとても見やすく今風でコースの内容もオプションの内容も料金も分かりやすかったです。

また、YouTubeやLINE等も活用していて現代のニーズに合わせていたため、教え方も工夫していて分かりやすいだろうと考えました。また、定期カウンセリングがあったので通信講座の弱点も補えると思いアガルートのダブル合格カリキュラムを受講することに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

高校受験以来25年間全く勉強をしてこなかったのが本当に右も左も分からない状態でした。とにかくアガルートの教を素直に愚直に実行しただけだと思います。

アガルートに申し込みをして学習を開始したのが調査士試験日の1年前、令和5年の10月でした。最初はとにかく講義動画を等倍速で見進めました。仕事が現場仕事なので通勤の車の中と、家に帰ってからと、視聴できるときはずっと見ていました。11月25日には一通り見終えたので択一の過去問平成17年から取りかかりました。

学習方法は定期カウンセリングで佐橋先生に教わった通りに進めました。まず平成17年を分からなくても、なんとなくでもいいので20問解き進める。翌日にまた平成17年を20問解いて、平成18年を20問解く。翌日にまた平成18年を20問解いて、平成19年を20問解く。こういった形で令和4年まで進めていき12月28日に1周目が終わりました。最初の1周目は全く分からずとにかく辛かったです。この時も通勤時間は講義動画の2周目を見ていました。

択一の2周目は1日1年分、できる日は2年分解き、前日分からなかった問題を復習するようにしていました。

4周目が終わる2月上旬頃には7割程解けるようになってきたのですが、飽きてきて中だるみをしてきたので「中山式」複素数計算の勉強を始めて、新・定規の使い方講座も学習しました。書式ひな形対策講座の勉強もするようになっていたのですが、一番嫌いな勉強で食わず嫌いをしあまりやっていませんでした。

そして2月17日から記述の過去問の学習をスタートしました。まったく分からずちんぷんかんぷんでこんなんでも10月の試験に受かることができるのかと愕然としたのを今でも覚えています。

3月から測量士補の動画を見始め4月から測量士補の勉強を並行して始めて、4月20日から試験日の5月19日まで測量士補の勉強一本で行きました。測量士補の勉強が終わってからは択一の勉強を再開して中山先生の言う骨折法を実施しました。ここで身に付いている知識と、抜け落ちている知識がはっきりと分かったのでとても良かったと思います。

7月に入ってから佐橋先生の勉強方法を真似して、1日に過去問1年分（択一、記述の土地、建物）を解きました。休日は2年から3年分をこなしました。それと食わず嫌いであまりやっていなかった書式ひな形の勉強も1日4つずつやりました。そのルーティンのまま試験日まで黙々とこなしていき、過去問の記述は10周して、択一も15周はしたと思います。

その間も通勤時間には講義動画を見続けていましたので、民法は2周、不動産登記法は

3周その中でも区分建物は5周は見たと思います。講義動画も知識のレベルに応じて引っかかる場所が違ったので、何回も見られるところは本当に良かったと思います。

お陰様で択一47.5点、記述土地18点、建物18.5点、合計84点で合格することができました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

まず前提として土地家屋調査士試験の午前試験免除のための測量士補受験でしたので極力勉強時間を必要最低限に抑えたいという気持ちがありました。

測量士補の合格総合講義は3月から通勤時間に動画を見始めました。動画はチャプターが細かく区切られていたので仕事の休憩中など隙間時間にも視聴できてとても良かったです。中山先生の説明がとても分かりやすく講義内容が理解しやすかったので、座学での学習は4月から始めました。テキストの内容がその科目についての説明後にその内容の過去問を解く作りになっていたので記憶に定着しやすかったです。それに、テキストだけでは不安なところは、講義動画に戻って理解を深めることができたので、これもアガルトの講座の良いところだと思います。

4月20日から試験日の5月19日まで測量士補の勉強一本にして平日は2時間勉強しゴールデンウィークを含む休日は8時間勉強をしました。学習内容は3時間で押さえる計算問題と3時間で押さえる文章問題を完璧に解けるまで繰り返した後、5年分の過去問をすべて解けるまで繰り返しました。

結果28問中22問正解で合格することができました。

勉強時間も90時間ほどで必要最低限に抑えられたと思います。一般的に200～300時間の勉強が必要と言われているのでとても効率よく学習できたと思います。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

測量士補の計算問題はこれだけをやっていれば受かると言っても過言ではないと思います。測量士補の計算問題はほぼ3時間で押さえる計算問題しかやっていません。この3時間で押さえる計算問題を完璧にできるまで繰り返し勉強して、あとは5年分の過去問を完璧にできるように学習しただけです。

79ページの薄さに試験問題で出でであろうパターンの問題がまとめられているので最速で無駄なく効率的に学習できたと思います。本番の試験でもこのテキストと同じパターンの問題が多く出ました。このテキストのおかげで勉強時間が大幅に抑えられたと思います。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる計算問題と同じく文章問題もこのテキストを完璧にしていれば受かると思います。

テキストのサイズも持ち運びをしやすいうように小さく作られていますし、外出先でも勉強しやすいうように作られているので、通勤後の隙間時間に車の中で勉強するのにとても役に立ちました。

この問題集は3周できるように作られていて、3周勉強したら不思議と記憶に定着して

いました。

その中で苦手な問題が浮き彫りになってきますので、その問題のページに付箋をして繰り返し解いて記憶に定着させました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試は試験本番1週間前の同時刻に図書館を利用して模擬試験形式で行いました。本番さながらの緊張感を持って臨むことができて、28問中23問正解でした。この模試でできなかった問題を残り1週間で重点的に解いて苦手な問題を克服するのに役立てることができました。それに試験時間も余裕があることが体感として分かったので、本番でも焦らずゆっくりと問題を解いて計算問題のイーजीミスをしないうに心がけることができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

土地家屋調査士試験はとにかく情報が少なく分からないことが多く不安だらけだったのでこの導入講義があったのはとても助かりました。1年間の学習の流れから始まり、民法、不動産登記法、土地家屋調査士法の学習の仕方、試験の戦い方まで全体像を分かりやすく丁寧に説明してくれていました。

この講義のお陰で試験日までの流れがイメージできとても安心しました。私みたいな初学者にとってはとても貴重な話で本当に助かりました。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

まず、社会人の資格取得は学習時間の捻出がとにかく難しいと思います。繁忙期があり仕事の終わる時間も人によってまちまちだと思います。予備校に通う時間も勿体無いですし、何より私は田舎に住んでいるので通うことがほぼ不可能でした。そんな中、通信講座で、しかもスマホでいつでもどこでも講義動画が視聴できるのは本当に良かったと思います。そして、動画のチャプターが細切れになっていて、隙間時間にも見進めることができたので学習がとてもはかどりました。

また複数の端末でも見ることができたので自宅ではMacBookで、通勤時にはiPhoneで視聴していました。私は等倍速が一番理解しやすかったので等倍速で視聴していました。

とにかく中山先生の土地家屋調査士愛が伝わってくる講義内容でとても楽しそうに講義をされていて、見ている方も楽しく学習することができました。私は法律初学者で民法が苦手でしたが、説明が分かりやすく理解しやすかったです。それに何度も見返すことができるので、通勤時の移動中も毎日講義動画を視聴していました。

1年間の勉強期間で365日講義動画を見ていたと思います。民法は2周、不動産登記法は3周、その中でも区分建物5周は見ました。正直テキストは最後の方に見ただけで、インプットはほとんど講義動画だったと思います。

過去問解説講座

過去問解説講座がなければ過去問に全く歯が立たなかったと思います。

11月26日から択一の1周目に取り掛かりました。仕事が終わって夜に平成17年の択一20問を分からないながら解いていく。翌日の通勤時間の往復時に平成17年の択一の解説動画を見る。その日の夜に平成17年の択一を20問解いて、続けて平成18年の択一を20問解く。翌日の通勤時間の往復時に平成18年の択一の解説動画を見る。このルーティンで令和4年まで回していきました。1周目は本当に辛かったですが、2周目から分かる問題が増えてきてだいぶ楽になってきました。その中でも分からない問題は都度解説動画を見ました。

記述は2月17日から学習を開始しました、土地と建物どちらか1問を1日ずつ交互に進めていきました。最初はちんぷんかんぷんで全く分からなかったので解説動画を見ながら一緒に問題を解いていきました。記述は本当に意味不明で独学では100%理解できなかったと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

定規の使い方講座は土地家屋調査士と測量士補の全体の学習の中の最初の取っ掛けで一番楽しかった思い出があります。

他の学習は最初覚える際に脳に負担がかかって辛かったですが、唯一定規の学習は楽しくできました。複素数計算の学習と同時にやっていたのですが、複素数計算の勉強に行き詰まった時に息抜きとして勉強していました。

講義動画も中山先生が実際に手を動かしてカメラもアップで映しているので分かりやすかったです。私は左利きですが特に問題なく理解することができました。

[中山式] 複素数計算のご感想・ご利用方法

2月上旬に択一の学習がマンネリ化して飽きてきたので[中山式]複素数計算の学習を始めました。関数電卓は触ったことがなかったので最初に覚えるまで時間がかかりました。1週間は通して複素数計算のテキストの練習問題を繰り返し解いていました。これも講義動画で中山先生が実際に手を動かしてカメラもアップで映しているので分かりやすかったです。関数電卓はテキストと講義動画がなければ理解するのに相当な時間がかかったと思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

正直、書式ひな形を覚える勉強は土地家屋調査士と測量士補の全体の学習の中で一番苦手で嫌いなジャンルでした。最初に少しやりましたが、なかなか勉強する気になれず後回しにしていました。しかし記述問題を解くうえで覚えなくてはならないので、佐橋先生にケツを叩かれながら7月から1日4つずつノートに書いて何度も繰り返して覚えていきました。

主である建物が普通建物で、附属建物が区分建物の場合など書き方が煩雑でとても苦労しました。ただ過去問でも様々なパターンがあるので妥協する訳にはいかず、書式ひな形の50パターンとアドバンスの25パターンを全て覚えることができました。最後には車を運

転しながら登記申請書を思い浮かべて、頭の中で書けるようになりました。

実践答練のご感想・ご利用方法

実践答練は択一も記述も解けるようになってきて自信がついたら本番の予行演習として取り掛かろうと思っていました。

8月に入って自信がついてきたので図書館で本番を想定して解きました。答練は3つ問題が用意されていて、まずは第1回を解きました。過去問にはない論点が織り込まれていて、かなり焦りました。択一が13問しか正解できず、所要時間38分、記述の土地、建物はそれぞれ解けましたが全体で2時間25分かかってしまいました。

その翌日には第2回を解いて択一が11問しか正解できず、記述の土地、建物ともに分からなすぎて思考が停止し戦意喪失して終了するという最悪な状況でした。この時は放心状態になり今年の試験は無理なんじゃないかと思いました。しかしこの経験のおかげで、本番で分からない問題が出た時にどう対処しなければならないかを考えるようになりました。

第2回の反省を踏まえて翌週に第3回を解きました。点数は良くなかったですが、最後の1秒まで諦めない、点の取れそうなところから記入していく、間に合わなければ作図をフリーハンドで書くというのを実践しました。この実践答練の経験は大きかったと思います。知識以外での試験本番の戦い方も重要だと気付くことができました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

令和6年の本試験では法改正の論点は出ませんでしたが、記述式の問題で登記名義人が法人の論点として出てもおかしくないと思いました。しかし法改正の論点に関しては試験直前期に覚えるのが良いと思いました。この頃になれば、知識の基礎も固まっていますし応用の論点として混乱することなく覚えることができます。

また講義動画の中で中山先生が重要度も説明してくれましたので、勉強の優先順位をつけることができました。これにより効率の良い学習をすることができました。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は本番を想定して9月15日（日）の午後1時から解きました。

結果は択一が17問の42.5点、建物が柱間の辺長を出し間違えて15点、土地は座標の出し方がひらめかなくて思考がフリーズして地積が出せず、焦りすぎて作図もできずタイムオーバーになり5点という散々な結果になってしまいました。実践答練で経験を積んで、また自信を取り戻してただけに、この惨敗は精神的なダメージがかなり大きかったです。その日が定期カウンセリングでとても落ち込んだ状態で佐橋先生と話したのを覚えています。

ただこの経験で、やはり土地の問題はひらめきに頼る要素があるので、建物から解くこと、土地はひらめかなくて座標が出せなくても、落ち着いて記入できるところを冷静に埋めて行くこと、決して焦らず分からない事があっても深呼吸をして冷静に問題と向き合うことを学びました。

この経験が試験本番で生きました。記述の建物の問題で建物が複雑な形をしていましたが、落ち着いて床面積が出せて作図も書ききれました。土地の問題もP点がひらめかず分かりませんでしたが、冷静に他の部分を埋めることができました。

この直前予想模試の経験がなければ本番で実力を出しきれず、直前予想模試のような結果に終わっていたと思います。

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

定期カウンセリングでは最初から最後まで佐橋先生にお世話になりました。具体的な勉強の進め方から細かい部分のアドバイス、何より記述式問題の解き方の指示は非常に的確で、答案構成用紙の使い方は本当に勉強になりました。

講師へのメッセージ

佐橋先生には1年間本当にお世話になりました。皆が休みの土日の定期カウンセリングは本当に大変だったと思います。それでも大変さや面倒くさを微塵も出さずに対応してくれたプロフェッショナルな姿勢には頭が上がりません。

中里先生のホームルームでの敷地権の説明は分かりやすく、忘れる度に見直しました。そして質問制度の質問の返答も返信の時間をみると深夜2時に返してくださっていた時もあり、とても忙しい中なのに全力で対応してくださりました。

山崎先生と高野先生は試験日当日に明治大学の正門前でお会いして激励の言葉をいただきました。そのおかげで緊張がほぐれたのと同時に勇気をもらいました。あれは本当に心強かったです。

中山先生の作った土台に中里先生、山崎先生、高野先生、佐橋先生、古林先生が乗ったアガルートの調査士チームは最高です！！

本当にありがとうございました。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

過不足なく充実したテキストでどんな問題も解決

宮下 亮さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

付き合いのある司法書士事務所の要請や既に取得している行政書士資格との親和性の高さから、調査士試験に挑戦してみようと決意しました。業界の高齢化や業務の専門性の高さも取得した際のメリットが大きいなと感じていました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士試験の講座を比較検討した際に一番感じたのは選択肢が少ないことと、どこも高額だということでした。その中で一番安く、内容も過不足なさそうなアガルートを選択しました。通学でなく通信講座であることもデメリットよりメリットの方が大きいと感じていました。

合格体験記・学習上の工夫

通信講座であることを最大限活かすために、インプットの講義は倍速で視聴しました。近年の研究では、早口の方が頭に入りやすいという研究もあるらしいので、是非試していただきたいです。

特に自分は行政書士試験の勉強をしていた経験があり、民法は馴染みがあり頭に入りやすかったので2倍速で視聴していました。不動産登記法はじっくり視聴したかったので1.5倍速で、というように自分のやりやすいように学習できるのも通信の強みだと感じています。

他に自分が工夫したことといえば、インプットの際に一切ノートを取らないことくらいでしょうか。テキストに必要な十分なことが全て記載されているのであえて自分でまとめなおすということは蛇足に感じます。このあたりは個々人の好みや性質に大いに依存するところと思いますが、手を動かしたことが記憶の定着に大きく寄与するかと問われたら自分

はそうでもないと感じるので、講義を視聴しつつテキストを読んで、アウトプットに進み、曖昧な部分があると感じたならまたテキストに戻ってくるという基本的なことを繰り返したら案外しっかり定着してくるし、それが近道に感じました。

テキストは最後まで辞書がわりに活用でき、最初から最後まで大活躍でした。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

自分はもともと理系なので、そこまで大変ではありませんでしたが、文系で初学者の方もしっかりついていけるような内容だなと感じました。

例によって倍速で視聴していましたが、最初は基礎的な数学から始まり丁寧だなと感じました。テキストとそれに付随する動画講義で十分合格できる内容だと思いましたし、実際に3月頃から5月の本番までの時間で合格することができたのはこの総合講義のおかげだと思っています。

計算問題の対策も文章問題の対策も過不足ないように作成されており、まずはガンガン1周終わるまで先に進んでいいと感じました。もし躓くところがあっても計算問題や文章問題を押さえる別の講義が補完してくれるので、あるいは総合講義のわからない部分だけおさらいしてもいいと思いました。

テキストがフルカラーなものよい点だなと感じました。正直に言って測量の業界に携わっていないとイメージしづらいことが多いと感じました。何を目的として何を使用してどう測量するのかといったことがイメージできないと、いろいろな種類の測量を区別することができないと思うので、実際の測量機器や手法のイメージ図のようなものがカラーで説明されていたのは大変助かりました。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

最初は3時間で足りるのかなと半信半疑でしたが、足りました。

総合講義→この講座という順序でやりましたが、基礎知識は総合講義の方でやっているものでその復習だと思うとよくできた教材をよくできた順序でやっているなと思いました。

忘れている部分や理解が浅い部分が多分にあったので、その補完としての機能に優れていたと思います、この点は後述する文章問題の講義でも同じことが言えると思いました。

過去問も別に用意されているので、そこでも繰り返し繰り返し反復して、完成させていくイメージでした。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

こちらも最初は3時間で足りるのかなと思っていましたが、十分足りました。

先述した通り、総合講義から入り、この講座に進んでいくと、復習にも補完にもなります。また、この講座は一问一答形式になっており、サクサク進めるのもメリットの一つではないでしょうか。次のページに答えと解説がついているので、スキマ時間にいくらでも進めることができ、すぐに正誤が判断できる仕様になっています。また解説も細かく記載してあり必要十分な量だなと感じました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

模試は直前にやりました。講義や過去問のスケジュールがなかなか終わらなかったものありますが……、簡単すぎず難しすぎない難易度だったと思います。

近年の傾向を把握している予備校ならではの作成の仕方だったんじゃないかなと思ったのは本試験が終わった後のことです。本試験ではほぼ似たような内容の問題が散見されましたし、過去問だけでは補完できない部分が多くあったように思えました。そのため、この模試をやっていてよかったと感じました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

これからどのような講義がはじまっていくのかという講座です。民法の講義が始まる前にさらっと見て終わりです。法律科目の勉強をしたことない方にはいい講義かもしれないと思いました。ただ、とにかく総合講義が素晴らしいのでさっさとそっちに進んだ方がいいです。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

測量士補の時と同様、民法は2倍速で、不動産登記法は1.5倍速で視聴していました。結局講義は1周しかしていませんが、テキストは何度も戻ってくることになります。試験当日まで辞書替わりに活用することになるのは間違いありません。それほどよくまとまっているので、もちろんメモは必要ないですし、僕はなにひとつ書き込みはしていません。

他の講義や答練、過去問や模試でわからないところや理解が浅い部分は困ったらこのテキストに戻ってきたら必ず解決方法が記載してありました。それくらい過不足なく充実していると言えます。

また、絶対に一度では完璧にできないということの裏返しでもあるので、進めていて少し不安になっていてもあんまりこだわらずにさっさと先に進んでしまうのが吉じゃないかなと思っています。復習をする機会は後述する別の講義群が担ってくれています。そこで実際にどのあたりの理解度が足りていないのか、勘違いをしていたり誤認をしていた部分はどこだったのか、全て洗い出されていきます。その時にこのテキストがあればどんな問題も解決していくはずです。

実際に僕はこの講座を通じて誰かに質問をしたことは一度もありませんでした。答えは全て「そこ」にあります。

過去問解説講座

択一過去問は全体を2周、それでも間違えた部分だけまたやり直すというやり方でやっていました。1周やったあたりでたまたま中山講師にお会いする機会があったので進捗を説明してみると、9割できるようにとのことだったので2周目は9割目標で、幸いにもそれを達成できたのであとは残りをつぶしていくようにやりました。結局苦手な部分が洗い出されていき、その部分は何回も間違えたので本試験直前までやることになるのでした。

記述の方は何度もやる時間がなかったので1周だけ、書式はA4ノートに、作図はA3ノー

トに、実際に手を動かして反復しました。僕が土地家屋調査士の勉強でペンを握ったのはこの講義と書式と答練と模試だけです。わりと直前期まで終わりませんでしたが、最初の方は3時間ほどかかっていたのが段々と2時間切れるようになっていくのがわかったのでやはり慣れは大事だと感じました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

作図をやったことがなかったので定規を使うのも学生時代ぶりでした。

それでも講義がわかりやすいのでそれを真似したらいいだけでした。慣れるまでは時間がかかりましたが、この後やる過去問や答練でえぐいほどやられるので嫌でも慣れます、大丈夫。誰にでも修得可能です。

何を用意してどう使うかに頭を悩ませる必要がないほど文房具等の紹介をしてもらったので余計なソースをそこに割かなくて済んだのは本当によかったと思いました。

[中山式] 複素数計算のご感想・ご利用方法

関数電卓どころか電卓も普段使わなかったのが本当に修得できるか不安でした。しかし先述した通り過去問や答練で死ぬほどやられます。本試験までには全員使いこなせるようになっていることでしょう。

僕は理系出身なので、計算自体に免疫がありましたし、今何の計算を行っているのか、次に何の計算をしなければならないのかというものが理解できていたので頭に入ってきてやすい部分はありました。複素数にも抵抗はありませんでしたし、この部分のアドバンテージはあったように思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

この講座を一番やりこみました。何度も何度も。おかげで本試験の書式はほぼ完璧完答でした。

通常のひな形はほぼ完璧になるまで何度も反復しました。アドバンス問題というものもあり、通常の問題のその先の、拡張した問題が揃えられていました。難易度は高いが本試験で出ても不思議ではないような問題群で、質が高いと思いました。それでもできる限り反復し、本試験に臨みました。

実際の本試験の書式は、通常の何度も反復したありふれた申請書例が出題されましたが、どんなものが出てきても対応できるという自信があったので、不安を払拭するという意味でも効果は高かったと思います。

実践答練のご感想・ご利用方法

記述の過去問を終わらせた後、一通りこなしたと思い実践答練をやりはじめました。

正直に言ってとても難易度が高く、とても過去問の知識だけじゃ対応できないようなものになっていました。それまで積み上げてきた自信はポッキリと折られ、このままじゃ受からないんじゃないかと不安になるほどでした。実際にはこの実践答練は難しすぎるので、結果は気にしないでいいと思いました。ただ間違えたところは解説を読み、しっかりと復

習し、もし本試験でこのレベルの問題がでたとしてもしっかり対応できるという自信をつけるにはもってこいだと思いました。

ただ、このレベルの問題はそうそう出ません。できなかったからといって結果を気にすることはないです。これまで通りに過去問に焦点をあてて進みましょう。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

予備校を利用する上で一番とも言えるメリットが、法改正を労なく追えるところだと感じています。正直言って法改正前の知識をインプットするのは時間の無駄なので、常にアップデートされた教材でやれること、改正の背景を知り、最新情報を追えること、これは資格試験勉強においては必須なのかなと思っています。

改正前と改正後の知識がごっちゃになって覚えなおしや本番で混乱したりは本当に効率悪いですしもったいないと感じます。こういう講座があるのもアガルートの強みだと感じます。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

答練が終わったあと、本番直前にやりました。記述の過去問と答練とこの模試は本番の属する月に一気にこなしたのですが、どんどん記述のスピードがあがっていくのがわかりました。先述した通り、慣れはやはり大事だなと思いました。そういう意味では答練もこの模試も大差ない使い方をしていました。時間を計って択一からこなし、土地、建物と進み（僕はアガルート推奨の建物→土地とはやらずに常に前のページから順番にこなしていました）自分がどのくらいのスピードでできるのか、そして回数をこなしてどんどんなれるように、やっていました。

また答練と違う点としては、難易度が本番に似たようなレベルで、結果がそれなりに現在のレベルを反映してくれるものになっていました、それでも本試験よりは難しかったです。

講師へのメッセージ

1位を取ると豪語したくせに取れなくてごめんなさい、とても悔しいです。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

社会人でも細切れの時間を勉強に充てられる

塩見 隼人さん

2024〔学習経験者向け〕上級カリキュラム / フル

土地家屋調査士試験の受験回数：3回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

何か独立開業しやすい資格が欲しかったためです。同じような難易度、勉強時間で取れる社労士と悩みましたが、土地家屋調査士の方が独立しやすそうだと感じたのと、勉強内容に馴染みがあったからです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

土地家屋調査士を受験すると決めてから、まず、独学か予備校を利用するかを考えました。土地家屋調査士受験生はほとんどの人がそうだと思いますが、社会人のため効率よく勉強したいと思ったので予備校を利用することに決めました。

次にどの予備校にするかですが、検索したら上位に出てきたアガルートの合格実績、合格特典に魅力を感じてアガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私は令和4年6月に勉強を開始し、令和6年に最終合格しました。

1回目の受験は択一17問正解、記述はボロボロ

2回目の受験は択一満点、記述は12点

3回目の受験は択一19問正解、記述32.5点

1回目2回目受験時は択一に40分ぐらいかかりました。合格した3回目は択一に20分、残りは記述です。土地に60分使い、建物に70分使いました。土地はほぼ減点なしでしたが、建物は時間が全然たりず、10点ぐらいでした。択一に関しては、正解が途中で分かった問題は他の肢の検討はしていません。全部検討していれば3回目受験時も択一満点とれていましたので、全肢検討すべきだったと思います。

私は1回目の受験時には測量士補の願書提出に間に合わなかったため、2回目の受験時

に測量士補の受験をしました。

皆さん同じだと思いますが、勉強に充てられる時間は限られていましたので、なるべく調査士の勉強時間に充てて、測量士補はギリギリ合格するレベルでいいと考えました。そこで80時間程度勉強して試験に挑んだところ1問分足りずギリギリ落ちました。

私が勉強を開始した頃の自分にアドバイスができるなら以下の事を伝えたいです。

- ①測量士補には余裕を持って受かるように対策すべき。
- ②択一はできて当たり前、記述が勝負。記述でみんなができることを必ず自分もできるようにしなければいけない。

自分の勉強方法で良かったなと思う点は以下です。

- ①手を広げず、ひたすら同じ事の繰り返し。これのおかげで択一のスピードが上がりました。
- ②過去問は過去に間違ったことがない問題でも必ず全部やる。

私は合格するまでに過去問を30周以上はやったと思いますが、10回間違ったことがない問題でも11回目に間違ったといったことがありました。何で間違ったのか検討することで、本試験では同じ間違いをしなくなったと思います。

【土地家屋調査士】総論講義のご感想・ご利用方法

総論講義はとてもわかりやすく、効率よく知識が身についたと思います。

オンライン授業だといつでも勉強したい時にできるので非常に便利です。逆に社会人だとオンライン以外の選択肢はないように感じます。スマホでも勉強できますので本当にいつでもどこでも勉強できます。チャプターも細かく分かれており、自分が勉強したい箇所をすぐに聴くことができます。社会人だと細切れの時間を勉強時間に充てることが必要になると思いますが、アガルートの講座では細切れの時間を勉強時間にあてやすいです。

便利だと感じたのは講義の内容のテキストページも細かく記載があったことです。自分が聴いている講義内容のテキスト該当ページがすぐにわかり本当に便利でした。

講義は2倍速ぐらいで聞いておりました。聞き逃したところや、わかりにくかったところは巻き戻って聞いたり、倍速をやめて聞いたりしていました。生の講義ではこのような事はできませんのでオンラインならではの勉強方法だと思います。逆に生の講義ではそのようなことができず集中して聞くので、そもそも聞き逃しにくいのではないかと思います。この点に関しては一長一短ではあるなと思います。

過去問解説講座

過去問解説講座の択一は利用しませんでした。アガルートの択一過去問の解説は非常にわかりやすかったため、解説だけで理解ができたと思います。もしかしたらわかったつもりになってただけで講座をきいていればもっと近道だったのかもしれませんが。

記述式の過去問解説講座は利用させていただきました。記述式は、最初はわかりにくく、やはり講座で教えてもらった方が早く理解ができたと思います。問題の検討のやり方、問題文のどこを最初に読んで次にどこを読むかという順番等の説明もありましたので、非常に

助かりました。

択一の過去問解説講座は聞かなくてもなんとかかなりしましたが、記述の過去問解説講座は私にとっては必須の講座だったと思います。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

私はひな形対策講座は利用しませんでした。理由はテキストにあるひな形とほぼ同じだなと感じたからです。

聞いていればもっと本試験の記述で高得点を取れたのだろうと思います。私は記述の対策をおろそかにしすぎました。ひな形は登記の目的を正確に書くために必ず覚えておかねばなりません。ひな形を覚えるために耳から情報を入れるひな形対策講座を利用していれば勉強時間の短縮になったのではないかと思います。

実践答練のご感想・ご利用方法

私は実践答練まで手が回りませんでした。答練は過去問択一が完璧になり記述も過去問を完璧にしてからにしようと思い後回しにしていました。

今思えば、記述に関しては過去問よりも答練に時間を割いた方が良かったのではないかと思います。

記述は過去問と現在の出題傾向がかなり違っているからです。例えば、過去問の10年以上前の問題では難しい計算問題が出ていましたが、現在は複雑な問題は出ていません。それなのに過去問の難しい計算問題を繰り返し解いていてもあまり意味がないように思います。

私は受験日前日までひたすら毎日、土地と建物の過去問を各1問ずつ繰り返していましたが、ある程度繰り返したら答練に切り替えるべきだったと思います。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座は精神衛生上受講しておいて良かったと思います。

おそらくこの講義を受けても受けなくても合否に影響はなかったと思いますが、自分が知らないところで法改正があるかもしれないと不安になるより、この講座を受けてどの部分で法改正があったのか知っておいた方が良いと思います。時間もたいしてかかりませんので受講することをお勧めします。

この講座を受講しないで法改正を自分で調べるという方法もあるかもしれませんが、受験前の貴重な時間をそのようなことに費やすのはお勧めできません。

記述式過去問実演講座のご感想・ご利用方法

記述式の解き方は記述式過去問解説講座だけではわかりにくい部分があります。特に図面の書き方、計算の部分がわかりにくいです。記述式過去問実演講座では実際に講師が過去問を解いていく様子を見られますので非常にわかりやすかったです。

講師の手元をアップで撮影している講義ですのでわかりやすく、図面を書くスピードも把握できます。

定規、三角スケールの使い方がわかるので非常にお勧めです。初学者にこそ受けて欲しい内容です。

記述式計算ステップ講座のご感想・ご利用方法

記述式計算ステップ講座では計算問題に対して自信をつけることができました。外分点の計算方法、座標の回転の計算方法はこの講座以外では知ることができなかったのを知ることができて良かったです。

計算問題が苦手な方には特にお勧めの講座です。私は講座を受講した記憶はありません。テキストだけ確認してやり方を習得していきました。わかりやすいテキストでしたので、テキストのみの復習でも十分に理解することができました。

作図特化答練のご感想・ご利用方法

私は図面を書いたことが全くありませんでしたので、図面を書くのが非常に遅いです。合格はしましたが、いまだに非常に遅いと思います。机で勉強することがあまりありませんでしたので、最後まで作図は苦手でした。

上級カリキュラムのフルを申し込んだのですが、ほとんどの講座は見ずに合格しました。受講した講義は数少ないのですが、作図特化答練はその数少ない中の一つです。この講座のおかげで少しは作図に関してマシになったと思います。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

直前予想模試は手が回りませんでした。

受験直前期に模試を受けて思ったような点数が取れず自信をなくしなくなかったという理由もあります。今にして思えば、受けておくべきだったと思います。本試験時のペース配分や、本試験でやらかすミスをあらかじめ把握できるからです。私は本試験の記述で非常に簡単なことを何個か書き忘れ点数を何点か取り損ねました。もし、択一でミスをもう一問していたら落ちていました。

そのことを考えると模試であらかじめ自分のやらかすミスを把握しておき、本試験でミスをしないために予想模試を受けるべきでした。

模試で間違っても、本試験ではおそらく同じ間違いをしないわけですから、本試験で間違う所を今、模試の段階で間違ったと前向きに捉えることでいい結果に結びつくと思います。

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

スキマ時間を見つけては講義動画をコツ コツ視聴

岩谷 公太さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

私は現在、地方公務員として固定資産税の課税業務に携わっております。業務上、土地家屋調査士の方と接する機会もあるのですが、はじめは土地家屋調査士の方の話がまったくわかりませんでした。業務に関する勉強はどのみちやる必要があったので、それならば資格も取得してよりサービスの質向上につなげたいと思ったのが目指したきっかけです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

地方在住のため近辺に予備校等がなく、また仕事の都合上まとまった勉強時間を確保することも難しいため勉強するなら通信講座にしようと思い、比較サイト等を検索したところ、アガルートの中山講師が非常にわかりやすいと紹介されていました。サンプルテキストを視聴したところ、1回当たりの講義時間も短くコンパクトにまとめられており、スツと頭の中に入ってきたので、これなら続けられると思いアガルートを受講しました。

合格体験記・学習上の工夫

私は令和5年11月から学習を開始し、学習期間は約11か月です。学習を始めた当初は、試験範囲の広さに圧倒されましたが、中山先生の講義の進め方動画なども参考にしながら試験日から逆算して学習計画を立てました。流れとしては、11月～インプット（講義視聴）、1月～アウトプット（択一過去問）、2月～択一過去問と並行して測量士補試験対策、5月～アウトプット（記述過去問）という流れで学習を進めました。この中で一番力を入れたのが択一過去問です。記述問題は択一知識の中から問われるため、択一を完璧にすれば記述も解けるとのことだったので、択一過去問は平成17年度以降の問題をすべて覚えるまでひたすらやり込みました。アガルートの調査士講座すべてに共通しているのですが、1回当たりの講義時間が短くコンパクトにまとめられており、倍速視聴もできるのでスキ

マ時間でどんどん講義を進められるのが、仕事と両立するうえで非常に良かったと思います。

私は定期カウンセリングなどを受講していなかったため、今の進捗状況で大丈夫なのか不安に思うこともありました。Xでほかの受験者さんがここまで進んだとか何時間勉強したというツイートを見ると余計に不安になりそうだったので、Xの「調査士！一日一問」と質問制度以外、基本的にSNSは控えていました。

試験に一発合格できたのは、中山先生と今まで頑張ってきた自分を最後まで信じて諦めなかったからだと思います。アガルートの教材は合格に必要なすべてが詰まっているので、試験に絶対合格するという強い意志があれば合格を勝ち取ることができると思います。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

測量士補の学習を始めたのは令和6年2月からで学習期間は約3か月です。まったく測量に関する知識なしからのスタートだったのですが、テキストには豊富なイラストや図を用いて、文字だけではイメージできないような内容でも視覚的にイメージしやすくなっており、たくさん出てくる専門用語についても中山先生がわかりやすく説明してくれるのでつまづくことなく学習を進めることができました。また、過去問題集が年度別ではなく総合講義の動画順で配置されていたので、インプットの動画視聴後すぐに対応する過去問を解いてを繰り返し、講義動画をすべて視聴した時点で過去問も1周することができ、効率的だったと思います。合格に必要な知識がコンパクトなテキスト1冊にまとまっており、また1回あたりの講義時間も十数分にまとまっており、スキマ時間を活用したい私の学習スタイルにもマッチしていて、調査士試験の勉強とも無理なく並行して進めることができました。測量士補試験本番では、電卓が使用できないため計算問題のケアレスミスだけはしないように気を付けましたが、試験時間が長めに設定されているので、落ち着いて問題文を読み、解答しても時間に余裕がありました。この短期間で合格できたのもこの講座あってこそだと思います。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

試験直前期における総復習と苦手分野の把握に活用しました。このテキストは、試験合格に必要な問題が網羅されているので、自分がどの分野を苦手としているのか短時間で効率的に把握することができました。間違えた問題は総合講義のテキストと過去問を見直し、苦手問題をなくしていきしました。試験本番は電卓が使用できないため計算ミスだけは最後まで不安でしたが（笑）、解き方がわからないという問題はない状態で臨めたので良かったと思います。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

こちらも計算問題と同じように総復習と苦手分野の把握に活用しました。一問一答形式でサクサク解き進めることができ、かつ要点をしっかりと押さえているので、短時間で効率的にアウトプットすることができました。試験直前期から本番までは基本的にこのテキス

トを繰り返し解き、何度も間違えた問題のみ総合講義のテキストと過去問に戻る学習を行いました。問題ごとに重要度も付いていたので、より重点的に振り返るべき問題も一目で把握できて助かりました。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

試験直前期の自分の実力を客観的に確かめるツールとして最適だと思います。試験の1週間ほど前に挑戦しましたが、試験の出題傾向を踏まえ、より実践的な内容になっているため実際に試験を受けるときのように時間配分も気にしながら解きました。実力診断模試をやるまでに過去問はほぼ正解できるレベルになっていたため、問題も過去問知識から解くことができ、点数も合格レベルの点数を取ることができたので、試験本番でも自信を持って臨むことができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

今まで調査士試験の学習経験がまったくなかった私にとって、講義の進め方は非常に参考になりました。記述問題など調査士特有の試験問題に対してどのように学習を進めていけばよいかわからなかったので、学習の進め方はすべて中山先生の言う通りに実践し、学習計画を立てました。おかげでスムーズに学習を始めることができ、いいスタートダッシュを切ることができました。未経験から調査士試験にチャレンジしようとする方は必ず最初に視聴することをおすすめします。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

1回あたりの講義時間が10分から20分ほどと短くコンパクトにまとめられていることにまず驚きました。法律学習のインプット講義という30分から60分と長時間で堅苦しいイメージがありましたが、アガルートの総合講義は倍速視聴をすれば数分のスキマ時間でも学習を進めることができ、法律初学者の方もハードルはだいぶ低いと思います。私は仕事をしながらの学習だったため、講義音声ダウンロードして、通勤中や休憩時間など場所や時間を選ばず学習を進められるのは本当にありがたかったです。

私は、民法については過去に公務員試験や宅建士試験で学習経験があったため、調査士試験に必要な総則・物権・相続のみ復習程度の視聴にとどめ、学習経験のない不動産登記法を重点的に学習しました。講義視聴1周目は、分からない部分が出てきてもひとまず最後まで視聴することを優先しました。不動産登記法は、各論まで視聴して、もう一度総論に戻ってくることで理解できる部分もあるので、立ち止まらずに見進めた方が最終的に合格への近道になると思います。2周目、3周目と繰り返し視聴するうちに点と点でバラバラだった知識が線でつながっていく感覚がありました。

とにかくスキマ時間を見つけてはコツコツ視聴していたので、あまり自覚はありませんが、あとから振り返ってみるとこの総合講義が試験対策全体で1番時間を割いた部分でした。一般的な試験対策用の大判で分厚い教材と違って、アガルートのテキストは持ち運びしやすいコンパクトさの中に合格に必要な十分な知識が全て詰まっているので、このテキス

トの内容を全て理解できれば確実に合格に必要な実力がつきます。

過去問解説講座

総合講義を一通り視聴した後に、択一過去問を解き始めました。1日1年度分を目標に進めましたが、1周目は半分も解けずストレスを感じました。しかし、1度講義動画を視聴しただけですべて理解できるわけがないと割り切り、わからない問題は解説動画で確認するのを繰り返しました。解説動画を見るときは正解の肢だけではなく間違いの肢もなぜ間違いなのかを説明できるように意識して視聴しました。5周目あたりまでは年度順に進めましたが、ある程度解けるようになってからは、何度も間違える問題を分野別に洗い出し、苦手な分野を集中的に解き、苦手な分野を残さないようにしました。

記述過去問は、択一知識をある程度習得してから開始しました。記述過去問1周目は、問題をざっと眺めたら、すぐに解説動画で中山先生の問題文の読み方や解く順番、注目すべきポイントなどをトレースして中山先生と同じように解く練習をしました。合わせて申請書例を解き進めることで、実際に記述過去問を解くときの理解もより進むと思います。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

記述過去問の解説動画内で作図のやり方の解説は特にないので、こちらの講座で先に作図のやり方を学んでから記述過去問に入りました。講座では初めにおすすめの作図用具や試験に向けた道具の加工についても触れられていて、まったく未経験の私には大変参考になりました。作図のやり方については、豊富なイラストも交えて丁寧に解説されていましたが、私が左利きだったため、中山先生のやり方をそのまま真似しようと思っても上手くいかず、最終的には中山先生のやり方をベースにしつつ自分のやりやすいやり方を見つけるのが大切だと感じました。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

関数電卓を使用したことがなかったため、初めはできるようになるのか不安でしたが、中山先生が実際に画面上で関数電卓の初期設定から操作しながら進めてくれたので、同じように手を動かして覚えていくことができました。始めは慣れない操作に戸惑いますが、何度も関数電卓を叩くうちに体が覚えていくので、とにかく感覚を忘れないように何度も繰り返し練習することが大事です。テキスト最後の練習問題には、中山式複素数計算のすべての要素が詰まっているので、試験本番まで定期的に解いて感覚を忘れないようにしていました。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

総合講義に記載されている申請書例が1冊にまとめられており、コンパクトで持ち運びやすいので、スキマ時間での学習に最適です。私は記述過去問を解き始める少し前から利用し始めました。記述問題は解くために机や作図用具が必要で解説講座も30分ほどスキマ時間で学習するのは大変でしたが、申請書例はどこでも学習ができるので、スキマ時間を見つけては1日3、4問のペースで解いていました。後半の建物、区分建物はパターン

が多く、なかなか覚えるのに苦労しましたが、自分で書いた申請書例を穴埋め形式にするなど工夫して毎日継続していました。

実践答練のご感想・ご利用方法

試験本番の2か月ほど前に解き始めました。その時点では過去問択一はほぼ完璧に、記述も8割以上解けるレベルになっていたのですが、実際に答練を解いてみると最初は思うように解くことができませんでした。自分が講義の中でサラッと流していた部分など細かい論点も含まれており、過去問が解けるようになってきて、緩みかけていた気を引き締めるいいきっかけになりました。答練で間違えた問題、カバーしきれていなかった論点をしっかり見直して理解するのは大事ですが、答練に固執してやりすぎるのもよくない、答練で高得点を取ることが目的ではないとのお話がありましたので、答練を2周ほどした後は深追いせず、みんなが解ける問題を落とさないように基礎固めに専念しました。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正はなかなか自分で情報収集して対応するのが難しいので、アガルートの法改正対策講座は非常に参考になりました。今年度はそこまで大きな法改正はなかったと思いますが、講座内ではテキストの変更点だけではなく、過去問も法改正によってどのように変化するのか解説されていて具体的にイメージしやすかったです。またテキストの法改正した部分は上からピッタリ貼り付けられるようになっており、テキストに書き込んでわかりづらくなるのを防ぐことができるのも良かったです。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

試験超直前期の10月頭ころに解きました。答練よりも本試験に近い形式となっているので、自分の実力をより客観的に理解するのに役立ちました。実際に模試を解いてみると、自信のあった択一で3問ほど間違えてしまったり、記述問題の時間配分が甘く、最後まで解ききれなかったりと直前にして過去問だけでは気付かなかった課題に気付くことができたので良かったと思います。試験本番では、これらの反省点も踏まえて挑むことができました。

講師へのメッセージ

一発合格カリキュラムで文字通り一発合格することができました。アガルートでなければこのような結果を得ることはできなかったと思います。中山先生ありがとうございました！

令和6年度

土地家屋調査士試験合格

アガルートのテキストは一発合格に欠かせない

福本 瑛介さん

2024 ダブル合格カリキュラム

土地家屋調査士試験の受験回数：1回目

土地家屋調査士試験を目指した理由・契機

現在勤めている土地家屋調査士事務所で学生時代半年間アルバイトをしていました。その際、境界立ち会いで土地の境界を説明している先生に憧れを持ち、また平均年齢が高く、若者が活躍できるチャンスがあると思い土地家屋調査士を目指そうと決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

学習初期は学生で比較的時間があったので、独学で挑戦してみようと思っていましたが、知識0からのスタートでしたので参考書を読んでいるだけではなかなかイメージが沸かず、学習意欲が下がっていく一方で、このままでは絶対に受からないと感じていました。そこで通信教育を受けようと思い、いろいろなサイトやYouTubeで比較し、隙間時間に効率よく学習できること、講義が非常に分かりやすいこと、全額返金制度があることからアガルートアカデミーを受講しようと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

学習を始めたのは試験の1年前でした。当時大学4年生で研究と両立しながら学習を進めていましたが、勉強時間は確保しやすかったため、平日は6時間、休日は10時間勉強していました。

最初の1、2ヶ月はとにかく合格総合講義を早く見終わろうという気持ちで電車の移動中や大学の研究中也イヤホンをしながら動画を見ていました。この時に注意していたのは、疑問点は翌日に持ち越さないということでした。動画中で分からないことや疑問に思ったことは繰り返し動画を見たり、ネットで調べたりなどして、その日中に解消してから学習を進めていました。

インプットにある程度目処がついてきた後は、過去問を使ってアウトプットをひたすら

繰り返し行いました。過去問の2周目以降は中山先生が紹介していた付箋学習が非常に有効だったと感じています。間違えた問題や理解できなかった知識が付箋と一緒になくなっていく感覚がすごく楽しかったです。

また過去問を繰り返し行う時に注意していたのは自分で解説できるくらいまで理解するということでした。問題を解くとき択一では一肢ずつどこが違うのか、記述ではどこに注意して問題文を読むのかなど中山先生の真似をしながら口に出して説明することで、より知識が定着するのを実感しました。

【測量士補】総合講義のご感想・ご利用方法

測量士補の学習は試験の3ヶ月程前からスタートしました。測量士補の試験に関しては、過去問ができれば合格できるということを教えていただいたので、アウトプットメインで学習を進めていました。单元ごとに過去問を行い、その後過去問で解いた単元の講義動画をみてというリズムで毎日学習を行っていました。苦手な単元に関しては、スキマ時間も繰り返し聞き流しながら学習していました。

測量の知識が全くなく独学で測量士補の勉強をしていた際、知らない用語が多くて挫折した経験があったことから、大丈夫かなという不安はありました。しかし講義動画は15分程度で短く、トータルステーションや地球儀などを使った講義もあり、視覚的にも理解が進みました。あと何より中山先生の説明が分かりやすくおもしろかったです。

講義動画だけではなくテキストも自分に合っていたと思います。文字だらけのテキストは苦手で見ただけで学習意欲が下がってしまいましたが、アガルートのテキストは図や表が活用されており、单元ごとに過去問や練習問題があったおかげで理解が進みました。

試験当日も苦手単元の講義動画とテキストを繰り返し見ていたので、測量士補に合格する上でアガルートの測量士補の講座は必要不可欠なものだと感じています。

【測量士補】3時間で押さえる計算問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる計算問題では、中学、高校の復習のような問題から、測量士補の分野まで丁寧に扱われていて、数学が苦手な人にも分かりやすかったです。

動画内でも1問1問、順を追って解き進め方を説明してくださっていたので、複雑な問題でも練習を重ねると解けるようになったことが嬉しかったです。

また、1種類の問題を1問だけで終わるのではなくて、違う角度から解かないといけない同じ分野の別の過去問もあるのが良かったです。

【測量士補】3時間で押さえる文章問題のご感想・ご利用方法

3時間で押さえる文章問題では、テキスト1冊で測量士補の分野を網羅できたのがすごくありがたく、勉強しやすかったです。社会人になり、なかなか勉強時間が取れない中、テキスト1冊を持ち歩くだけで電車などの移動時間を有効に使って勉強することができました。

また、間違った問題には右上の四角のボックスにマークを記入し、何度も振り返れた点

や、答えがめくらないと見えないのが一問一答のように使える点も良かったです。

解説も選択肢全て丁寧に解説されていて分かりやすかったです。

【測量士補】実力診断模試のご感想・ご利用方法

実力診断模試では、3時間で押さえる文章問題と3時間で押さえる計算問題の理解状況と、どのくらいできているのかが把握できて良かったです。過去問を何回も解いていると、解き方を意識していても、答えを覚えてきてしまったり、新鮮さがなくなっていました。きちんと時間を計って、本番同様にみたことのない問題を解くことができるのが良かったです。間違った問題はテキストでもう一度復習するという勉強方法でしっかりと頭に定着し、本番を迎えることができました。

【土地家屋調査士】導入講義のご感想・ご利用方法

導入講義では点数配分や試験時間など、調査士試験のポイントなどが知れて良かったです。中里先生が言っていた勉強の進め方のスケジュールでは、まず教科書を読み切って、複素数や定規に入るといった流れが、勉強開始時点からわかり目標設定をできることで、勉強へのモチベーションをあげることができました。また、逆にこれくらいの期間で次のステップに入る必要があると自分を追い込む材料となり、毎日勉強をするという癖づけを行うことができたのも良かったと思います。

【土地家屋調査士】総合講義のご感想・ご利用方法

独学で学習していた際、参考書を読むだけではイメージができず、学習意欲が下がっていた時期がありました。そんな時に中山先生のサンプル講義動画に出会い、これしかないと思いアガルートでの学習を決めました。

合格総合講義は15分程度で単元ごとにまとめられており、スキマ時間を利用していつでも、どこでも視聴することができ、学習初期から試験当日までずっと利用していました。電波が届かないところでも事前に音声ダウンロードしておくことで、どこでも聞き流すことができた点も非常に良かったと思います。

1周目は分からないことが多く、少し聞き流すくらいでしたが、2周日以降はその日みた動画で分からなかったこと、理解できなかったことを翌日に持ち越さないように理解できるまで何度も繰り返し動画とテキストを見ていました。その際中山先生の真似をしながら自分なりに解説することでより理解が深まったと感じています。

中山先生がおっしゃっていたとおり、アガルートのテキストを理解し、暗記することができれば必ず合格できるということを実感しました。アガルートのテキストには合格に必要な知識が全て載っていたため、一発合格する上で1番うかせなかったものといえば、アガルートのテキストだったと断言できます。

過去問解説講座

合格総合講義の2周目が終わった後は、過去問を毎日ひたすら解きました。知識がまだ定着しておらず、最初は苦戦していましたが中山先生の分かりやすい解説のおかげで繰り返し

返し過去問に取り組むことができました。特に記述に関しては、最初は苦手だったこともあり、どこを読んでいいかわかりませんでしたが、中山先生の解説のおかげでどこに注目して読めばいいか理解することができました。また、解説が総合講義のテキストと連携していた点も良かったです。

問題が年度ごと用意されており、1年分解くことで幅広く学習することができたと感じています。択一に関しては、単元ごとに問題を解きたい時は後ろの目次から問題をまとめて、単元ごとに問題を解く、テキストを読むというリズムで学習を進めていました。

新・定規の使い方講座のご感想・ご利用方法

新・定規の使い方講座では書きやすいおすすめのボールペンから、ずれないメモリの書き方、定規の向きなどすごく詳しく説明してくださったので、メモリがずれるなどの問題がなく作図に取り掛かることができました。また、地積測量図や建物図面など一つ一つ丁寧に動画を分けて解説してくれていて、地積測量図だけ見返したりと分野別に振り返ることができ、何度も見返して何度も書く練習をしたおかげで、図面をすらすらとまっすぐ綺麗に書くことができました。

【中山式】複素数計算のご感想・ご利用方法

複素数計算では、最初は関数電卓というものを使い慣れていなくて、どこにどのボタンがあってどの数式を選べばいいのかぐちゃぐちゃになっていましたが、高野先生がショート動画などで言っていた、毎日たたき続けて何回もやっていれば体が覚えるという言葉信じてやっていたら、徐々に計算するスピードも上がり、すらすらと必要となる数式などが出てくるようになりました。また、複素数計算を使うことで、普通に計算するよりも早く解が出て、作図に時間をかけられたことが良かったです。

書式ひな形対策講座のご感想・ご利用方法

書式ひな形対策講座では、1単元1問で50問全てを網羅できるという点が良かったです。

作図で出題されなさそうな問題も5問程度用意しておいてくださったので、住所変更などが何登記なのか、どこに書くのかなど本番でも迷わず書くことができました。また、ひな形の様式を作ってくださっていたので余分な文字は書くことがなく、何度も繰り返し練習することができました。ひな形の動画でしっかり作図のポイントを教科書に沿って説明してくれていたのも、定着しやすくありがたかったです。

実践答練のご感想・ご利用方法

テキストを毎日繰り返し読み、過去問を毎日繰り返し解き、満点を取れるようになって知識を完璧に身につけたと思っていました。しかし、実践答練で今まで見たことのない問題や過去問と同じような問題でも聞かれ方が異なる問題に触れたことで、自分のレベルを知ることができ、まだまだ実力不足だと気付かされました。過去問同様繰り返し解くことで重要な論点を深掘りし、再確認できたので良かったです。また記述問題では過去問ではしっかりと自己採点をやっていなかっただったので、採点のポイントや配点が書かれていたおかげで

げで、自己採点の練習もすることができて良かったです。時間配分も過去問を解く時はあまり意識していませんでしたが、本番と同じように実践答練を解くことで本番さながらの緊張感を味わいながら、時間配分を意識して解くことができたのも良かったです。

法改正対策過去問解説講座のご感想・ご利用方法

法改正対策過去問解説講座では、自分で調べるのでは絶対に網羅できない法改正にしっかりと対応してくださっていたので、古い情報でなく最新の情報でテストに挑むことができて良かったです。法改正に沿った過去問の解説も、ポイント等をしっかり教えてくださったのが良かったです。過去問題を解いていく中で、古いものになっていくと法改正前の問題があったりして、今はどっちなんだ？と惑わされていた中で最新の法改正の解説動画だったので、本当にありがたかったです。

直前予想模試のご感想・ご利用方法

他社の模試を利用していましたがアガルートの模試が1番本番の問題に近かったと思います。過去問を元に、本番の問題を予想して作成されていたため、自分のレベルを正確に分析することができ、直前に自分の足りないところを再確認することができて良かったです。また解説動画も分かりやすく、しっかりと理解した上で試験本番に臨めたことも良かったと思います。直前予想模試をやっていたおかげで似たような問題ができたときに焦らず取り組むことができて良かったです。